

前 金	部 分 払
有	一 回

令和 5 年 度
下 工 公 補 第 1 7 号

安濃第1汚水幹線築造工事設計書

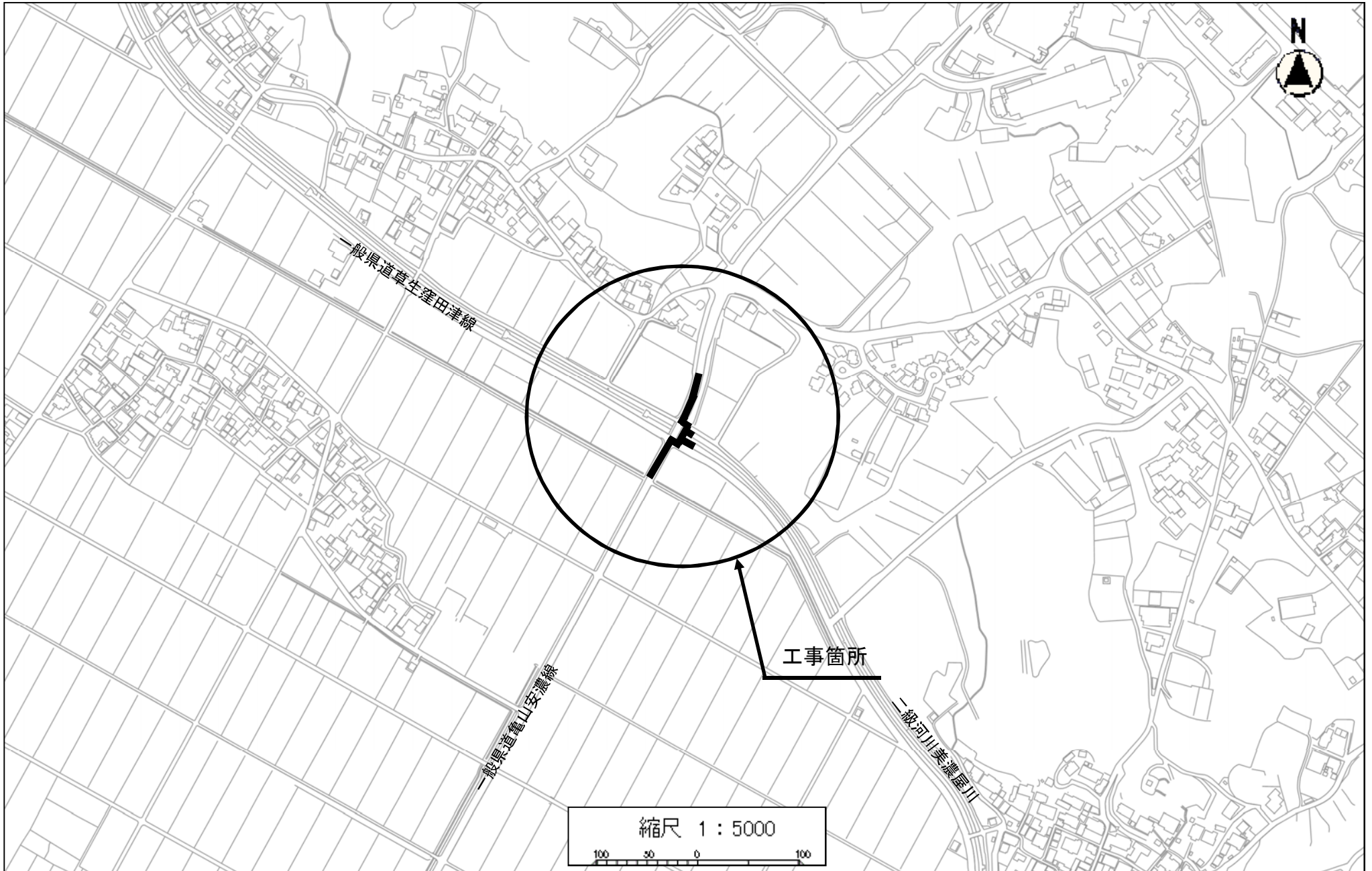
工 事 仕 様 は 特 記 以 外 は 三 重 県 公 共 工 事 共 通 仕 様 書
及 び 工 事 監 督 員 の 指 示 に よ る 。

津 市
上 下 水 道 事 業 局 下 水 道 工 務 課

令和5年度	下工公補	第17号	工 事 設 計 書			
施工場所	津市安濃町安濃地内			担当参事(兼)課長		
				検算者		
工 事 名	安濃第1汚水幹線築造工事			調整担当主幹		
				担当主幹		
設 計 額	(うち消費税等相当額)			担当副主幹		
				設計者		
工 期	令和 6年 9月30日限り					
長	-	巾	-			
工 事 の 大 要						
管布設工 (管径75mm)			34		m	
水管橋工 (管径75mm)			11.9		m	
橋台工			2		基	
マンホールポンプ設置工			1		式	

位置図

令和5年度下工公補第17号
安濃第1污水幹線築造工事



工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
管路(補助)		式		1			
管きょ工(開削)(圧送管DI P75mm)		式		1			
管路土工		式		1			
管路掘削	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		30			
管路埋戻	排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)	m3		10			
発生土処理	ダンプトラック 4t 積級	m3		30			
管布設工		式		1			
圧送管材料		式		1			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	工事名	
							令和5年度下工公補第17号	安濃第1污水幹線築造工事
						工事区分 管路(補助)		
ダクタイル鋳鉄管布設工	φ75	m		34				
GX形継手接合工	φ75 直管	口		8				
GX形継手接合工	φ75 異形管	口		22				
GX形挿し口加工	φ75	口		14				
鋳鉄管切断	φ75 溝切加工のみ	口		14				
鋳鉄管切断	φ75 切断のみ	口		12				
伸縮可撓管設置工	φ75 U-S	基		2				
伸縮可撓管設置工	φ75 F-F	基		1				

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
安濃第1汚水幹線築造工事						
フランジ継手	φ 75	口		2		
鞞管材料		式		1		
鋼管布設工	φ 80	m		0.4		
鋼管布設工	φ 300	m		18		
鋼管切断	φ 300	口		8		
電気溶接	φ 300	箇所		6		
埋設標識テープ	W=150 2倍	m		33		
ポリエチレンスリーブ工	φ 75	m		16		

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1汚水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
管明示テープ工	天端明示のみ	m		33			
メカニカル継手はずし工		口		1			
管基礎工		式		1			
砂基礎	埋戻し用砂	m		12			
管路土留工		式		1			
軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下	m		7			
軽量鋼矢板引抜	掘削深2.0m以下	m		7			
軽量鋼矢板賃料	H=2.0m	式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
軽量鋼矢板賃料	H=2.5m	式		1			
土留支保(軽量金属支保)設置	1段	m		7			
土留支保(軽量金属支保)撤去	1段	m		7			
支保材賃料(腹起し)		式		1			
支保材賃料(水圧式ハコ型)		式		1			
支保材賃料(水圧ボルト)		式		1			
付帯工		式		1			
舗装版撤去工(本復旧)		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m		26			
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m ²		63			
殻運搬(路面切削)	アスファルト舗装殻	m ³		17			
殻運搬	アスファルト舗装殻	m ³		3			
殻処分	殻種別アスファルト殻	m ³		19			
舗装版撤去工(二次復旧)		式		1			
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m		49			
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m ²		29			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
		工事区分	管路(補助)				
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
殻運搬	アスファルト殻	m3		3			
殻処分	アスファルト殻	m3		3			
掘削		m3		3			
土砂等運搬		m3		3			
舗装版撤去工(本管)		式		1			
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m		64			
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2		34			
殻運搬	アスファルト殻	m3		3			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1汚水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
殻処分	アスファルト殻	m3		3			
アスファルト舗装復旧工(本復旧)		式		1			
切削オーバーレイ	密粒度As(20)改質Ⅱ型 t=5cm	m2		329			
不陸整正	補足材RC-40 平均t=1cm	m2		63			
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(13) t=5cm	m2		63			
舗装目地復旧		m		101			
アスファルト舗装復旧工(二次復旧)		式		1			
不陸整正	補足材なし	m2		29			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
安濃第1污水幹線築造工事						
上層路盤(歩道部)	再生粒度調整碎石 RM-30 t=10cm	m2		29		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) t=5cm	m2		13		
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) t=5cm	m2		17		
表層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) t=5cm	m2		13		
表層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) t=5cm	m2		17		
舗装仮復旧工(本管)		式		1		
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 t=29cm	m2		16		
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュラン RC-40 t=22cm	m2		18		

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	工事名	当初	事業区分	下水道
							令和5年度下工公補第17号		工事区分	管路(補助)
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(13) t=5cm	m2		16			安濃第1汚水幹線築造工事			
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(13) t=3cm	m2		18						
区画線工		式		1						
溶融式区画線	白色 実線 W=15cm	m		160						
溶融式区画線	白色 破線 W=15cm	m		7						
溶融式区画線	白色 ゼブラ W=30cm	m		3						
溶融式区画線	白色 ゼブラ W=45cm	m		9						
溶融式区画線	白色 矢印・記号・文字 W=15cm換算	m		63						

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号			当初	事業区分	下水道
		安濃第1汚水幹線築造工事				工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
溶融式区画線	黄色 矢印・記号・文字 W=15cm換算	m		19			
コンクリートブロック工		式		1			
床掘り		m ³		20			
埋戻し	RC-40	m ³		3			
土砂等運搬		m ³		20			
大型ブロック張	1000×1000×120	m ²		67			
基礎コンクリート	18-8-40(BB)	m		19			
間詰コンクリート	18-8-25(BB)	m ²		7			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
張コンクリート	18-8-25(BB)	m2		27		
目地板	樹脂発泡体 t=10mm	m2		0.7		
小口止コンクリート		基		3		
道路付属物撤去工		式		1		
コンクリート構造物取壊し運搬処理	無筋構造物	m3		7		
ガードレール撤去	Gr-C-4E 再利用撤去	m		22		
道路付属物復旧工		式		1		
ガードレール	Gr-C-4E 再利用設置	m		22		

工事数量総括表

		工事名			当初		事業区分	
		令和5年度下工公補第17号					下水道	
		安濃第1汚水幹線築造工事					管路(補助)	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
機械付帯工			式		1			
電線管		FEP φ50×3	式		1			
仮設工			式		1			
工事用道路工			式		1			
敷鉄板			式		1			
土のう			式		1			
交通管理工			式		1			
交通誘導警備員			人日		100			

工事数量総括表

		工事名 令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初		事業区分 下水道	
							工事区分 水管橋上部	
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
水管橋上部			式		1			
水管橋上部工(DIP75mm)			式		1			
架設工			式		1			
水管橋材料			式		1			
ダクタイル鋳鉄管据付			m		13			
GX形継手接合工		φ75 直管	口		4			
メカニカル継手			口		1			
フランジ継手			口		2			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	水管橋上部
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
空気弁設置	φ75 補修弁含	基		1			
歩行防止柵設置	φ75	基		2			
橋体架設	φ75	式		1			
現場塗装工		式		1			
現場塗装(中塗り)	ポリウレタン樹脂塗装	m2		4			
現場塗装(上塗り)	ポリウレタン樹脂塗装	m2		4			
仮設工		式		1			
ステージ足場		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	水管橋下部
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
水管橋下部		式		1			
橋台工		式		1			
作業土工		式		1			
床掘り		m3		40			
埋戻し	RC-40	m3		6			
埋戻し	流用土	m3		6			
土砂等運搬		m3		30			
鋼管回転杭工		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	水管橋下部
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
鋼管回転杭		本		4			
回転圧入施工		本		4			
杭頭処理		本		4			
橋台躯体工		式		1			
橋台躯体	A1橋台	基		1			
橋台躯体	A2橋台	基		1			
機械設備		式		1			
機械設備工		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	機械設備
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
機械設備工		式		1			
機器費(機械)		式		1			
機械設備		式		1			
電気設備		式		1			
電気設備工		式		1			
電気設備工		式		1			
機器費(電気)		式		1			
電気設備		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
直接工事費		式		1			
共通仮設		式		1			
共通仮設費		式		1			
運搬費		式		1			
建設機械運搬費	往路・復路	台		2			
仮設材等運搬費	軽量鋼矢板、敷鉄板、ｽﾚｰｼﾞ足場	式		1			
仮設材等積み取卸し	軽量鋼矢板、敷鉄板、ｽﾚｰｼﾞ足場	式		1			
安全費		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
保安全管理費	信号機運用切替	式		1			
技術管理費		式		1			
通水試験費		m		49			
X線検査費		枚		4			
設計技術費(機械)		式		1			
設計技術費(電気)		式		1			
据付間接費(機械)		式		1			
据付(技術者)間接費(電気)		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
据付(機器)間接費(電気)		式		1			
共通仮設費(率計上)		式		1			
純工事費		式		1			
現場管理費		式		1			
工事原価		式		1			
一般管理費等		式		1			
工事価格		式		1			
消費税相当額		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1汚水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
工事費計		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
		工事区分		管路(单独)			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
管路(单独)		式		1			
付帯工		式		1			
充填工		式		1			
充填工		式		1			
注入・吐出設備設置工		式		1			
仮設工		式		1			
交通管理工		式		1			
交通誘導警備員		人日		4			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(单独)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
交通誘導警備員 夜間		人日		10			
雑工		式		1			
雑工		式		1			
標識設置撤去		基		1			
水管橋下部		式		1			
橋台工		式		1			
橋台躯体工		式		1			
橋台躯体	A1・A2橋台	式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
		工事区分		共通仮設費			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
直接工事費		式		1			
共通仮設		式		1			
共通仮設費		式		1			
事業損失防止施設費		式		1			
試掘調査		箇所		1			
技術管理費		式		1			
土質等試験費		式		1			
通水試験費		m		28			

工事数量総括表

	工事名	令和5年度下工公補第17号 安濃第1污水幹線築造工事			当初	事業区分	下水道
				工事区分		共通仮設費	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
共通仮設費（率計上）		式		1			
純工事費		式		1			
現場管理費		式		1			
工事原価		式		1			
一般管理費等		式		1			
工事価格		式		1			
消費税相当額		式		1			
工事費計		式		1			

令和5年度下工公補第17号

安濃第1污水幹線築造工事

数量総括表

(補助対象工事)

レベル1 : 管路

レベル1 : 水管橋上部

レベル1 : 水管橋下部

レベル1 : 機械設備

レベル1 : 電気設備

レベル1 : 共通仮設

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
管きよ工(開削)(圧送管DIP75mm)	管路土工	管路掘削	機械 BH0.28 V= 18.45 + 8.70 = 27.15	管渠工数量計算表より	m3	27.2
		管路埋戻	機械 BH0.28 RC-40 V= 7.35 + 6.46 = 13.81	管渠工数量計算表より	m3	13.8
		発生土処理	4t積 V= 18.45 + 8.70 = 27.15	管渠工数量計算表より	m3	27.2
	管布設工	圧送管材料	圧送管数量集計表より N= 1.00 = 1.00		式	1.0
		タタイル鑄鉄管布設工	φ75 GX形 L= 33.80 = 33.80	圧送管数量集計表より	m	33.8
		GX形継手接合工	φ75 GX形 直管 N= 8.00 = 8.00	圧送管数量集計表より	口	8.0
		GX形継手接合工	φ75 GX形 異形管 N= 22.00 = 22.00	圧送管数量集計表より	口	22.0
		GX形挿し口加工	φ75 GX形 直管 N= 14.00 = 14.00	圧送管数量集計表より	口	14.0
		鑄鉄管切断	φ75 GX形 溝切のみ N= 14.00 = 14.00	圧送管数量集計表より	口	14.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		鑄鉄管切断	φ75 GX形 切断のみ 圧送管数量集計表より N= 12.00	= 12.00	口 12.0
		伸縮可撓管設置工	φ75 U-S 圧送管数量集計表より N= 2.00	= 2.00	基 2.0
		伸縮可撓管設置工	φ75 F-F 圧送管数量集計表より N= 1.00	= 1.00	基 1.0
		フランジ継手	80A 圧送管数量集計表より N= 2.00	= 2.00	口 2.0
		鞘管材料	二重管構造部数量計算書より N= 1.00	= 1.00	式 1.0
		鋼管布設工	片フランジ短管80A 圧送管数量集計表より L= 0.40	= 0.40	m 0.4
		鋼管布設工	鞘管STK400 φ300 二重管構造部数量計算書より L= 18.44	= 18.44	m 18.4
		鋼管切断	鞘管STK400 φ300 二重管構造部数量計算書より N= 8.00	= 8.00	口 8.0
		電気溶接	鞘管STK400 φ300 二重管構造部数量計算書より N= 6.00	= 6.00	箇所 6.0
		埋設標識テープ	W=150 2倍 圧送管数量集計表より L= 33.20	= 33.20	m 33.2

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		ポリエチレンスリーブ工	圧送管数量集計表より L= 15.50 = 15.50	m	15.5
		管明示テープ工	天端明示のみ 圧送管数量集計表より L= 33.20 = 33.20	m	33.2
		メカニカル継手はずし工	圧送管数量集計表より N= 1.00 = 1.00	口	1.0
	管基礎工	砂基礎	機械 埋戻し用砂 管渠工数量計算書より V= 5.54 + 0.97 = 6.51 水管橋土工部分(M37-3+48.33、M37-3+66.45 付近 左右岸) V= { (3.60 + 3.10) / 2.00 × 0.519 - 0.319 × 0.319 × 3.14 / 4.00 } × (1.60 + 1.60) = 5.31 Σ = 11.82	m ³	11.8
	管路土留工	軽量鋼矢板建込	掘削深2.0m以下 管渠工数量計算書より L= 1.16 + 4.10 + 1.67 = 6.93	m	6.9
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.0m以下 管渠工数量計算書より L= 1.16 + 4.10 + 1.67 = 6.93	m	6.9
		軽量鋼矢板賃料	H=2.0m N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=2.5m N= 1.00 = 1.00	式	1.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
付帯工	舗装版撤去工(本復旧)	土留支保(軽量金属支保)設置	1段 L= 1.16 + 5.77 = 6.93	管渠工数量計算書より	m	6.9
		土留支保(軽量金属支保)撤去	1段 L= 1.16 + 5.77 = 6.93	管渠工数量計算書より	m	6.9
		支保材賃料(腹起し)	1段 N= 1.00 = 1.00		式	1.0
		支保材賃料(水圧式パイプサポート)	1段 N= 1.00 = 1.00		式	1.0
		支保材賃料(水圧ポンプ)	N= 1.00 = 1.00		式	1.0
		舗装版切断	As版 県道部、市道部 L= 2.10 + 3.30 + 3.30 + 1.80 + 3.00 + 7.60 + 5.00 = 26.10		m	26.1
		舗装版破碎	As版 市道部 A= 63.20 = 63.20	舗装工面積計算書より	m ²	63.2
殻運搬(路面切削)	As殻 10t積 県道部 V= 329.30 × 0.05 = 16.47	舗装工面積計算書より	m ³	16.5		

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		殻運搬	As殻 4t積 市道部 舗装工面積計算書、管渠工数量計算書より 市道部本管(M33-1+42.90~+48.33、M33-1+66.45~+70.80) $V = 9.04 \times 0.03 = 0.27$ 橋台下部工埋戻し時仮復旧 (A1) $V = 0.45 \times 4.20 \times 0.03 = 0.06$ (A2) $V = 1.60 \times 4.20 \times 0.03 = 0.20$ 本復旧 $V = (63.20 - 9.04 - 1.89 - 6.72) \times 0.05 = 2.28$ $\Sigma V = 2.81$	m3	2.8
		殻処分	As殻 $V = 16.47 + 2.81 = 19.28$	m3	19.3
	舗装版撤去工(二次復旧)	舗装版切断	As版 県道部 $L = (1.20 + 9.30) \times 2.00 + (1.50 + 11.07) \times 2.00 = 48.64$	m	48.6
		舗装版破碎	As版 県道部 $A = 1.20 \times 9.30 + 1.30 \times 1.25 + 1.50 \times 11.07 = 29.39$	m2	29.4
		殻運搬	As殻 4t積 $V = (0.60 \times 9.30 + 0.70 \times 1.25) \times 0.05 + (0.60 \times 9.30 - 0.60) \times 11.07 + 0.60 \times 1.25 \times 0.10 = 2.46$	m3	2.5

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		殻処分	As殻 V= 2.46 = 2.46	m3	2.5
		掘削	機械 BH0.28 V= (10.35 + 5.20 + 0.70 × 1.25) × 0.15 = 2.46	m3	2.5
		土砂等運搬	4t積 V= 2.46 = 2.46	m3	2.5
	舗装版撤去工(本管)	舗装版切断	As版 管渠工数量計算書、橋台土工計算書より L= 48.76 + 11.54 = 60.30 橋台下部箇所 L= (0.45 + 1.60) × 2.00 = 4.10 Σ = 64.40	m	64.4
		舗装版破碎	As版 管渠工数量計算書、橋台土工計算書より A= 19.39 + 5.77 = 25.16 橋台下部工埋戻し時仮復旧 (A1) V= 0.45 × 4.20 = 1.89 (A2) V= 1.60 × 4.20 = 6.72 Σ = 33.77	m2	33.8
		殻運搬	As殻 4t積 管渠工数量計算書、舗装版破碎より V= 1.48 + 0.59 = 2.07 (A1) V= 0.45 × 4.20 × 0.05 = 0.09 (A2) V= 1.60 × 4.20 × 0.05 = 0.34 Σ = 2.50	m3	2.5

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		殻処分	As殻 殻運搬より V= 2.50 = 2.50	m3	2.5
	アスファルト舗装復旧工(本復旧)	切削オーバーレイ	密粒度As(20)改質Ⅱ型 t=5cm 舗装工面積計算書より 県道部 A= 329.30 = 329.30	m2	329.3
		不陸整正	補足材(RC-40) 平均t=1cm 舗装工面積計算書より 市道部 A= 63.20 = 63.20	m2	63.2
		表層	再生密粒度As(13) t=5cm 舗装工面積計算書より 市道部 A= 63.20 = 63.20	m2	63.2
		舗装目地復旧	5mm×40mm 県道部 L= 3.30 + 3.30 + 46.10 + 48.00 = 100.70	m	100.7
	アスファルト舗装復旧工(二次復旧)	不陸整正	補足材なし 県道部 A= 1.20 × 9.30 + 1.50 × 11.07 + 1.30 × 1.25 = 29.39	m2	29.4
		上層路盤	再生粒度調整碎石(RM-30) t=10cm 県道部 A= 1.20 × 9.30 + 1.50 × 11.07 + 1.30 × 1.25 = 29.39	m2	29.4
		基層	再生粗粒度As(20) t=5cm 県道部 A= 1.20 × 9.30 + 1.30 × 1.25 = 12.79	m2	12.8

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	舗装仮復旧工(本管)	基層	再生粗粒度As(20) t=5cm 県道部 A= 1.50 × 11.07 = 16.61	m2	16.6
		表層	再生粗粒度As(20) t=5cm 県道部 A= 1.20 × 9.30 + 1.30 × 1.25 = 12.79	m2	12.8
		表層	再生粗粒度As(20) t=5cm 県道部 A= 1.50 × 11.07 = 16.61	m2	16.6
		下層路盤	再生砕石(RC-40) t=29cm 県道部 管渠工数量計算書より (M37-3+28.3~M37-3+42.9、M37-3+70.8~M37-3+76.57) A= 10.35 + 5.20 = 15.55	m2	15.6
		下層路盤	再生砕石(RC-40) t=22cm 市道部 管渠工数量計算書より (M37-3+42.9~M37-3+70.8) A= 8.92 = 8.92 橋台下部工埋戻し時仮復旧 (A1) V= 0.45 × 4.20 = 1.89 (A2) V= 1.60 × 4.20 = 6.72 Σ = 17.53	m2	17.5
		表層	再生密粒度As(13) t=5cm 県道部 管渠工数量計算書より (M37-3+28.3~M37-3+42.9、M37-3+70.8~M37-3+76.57) A= 10.35 + 5.77 = 16.12	m2	16.1

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		表層	再生密粒度As(13) t=3cm 市道部 管渠工数量計算書より (M37-3+42.9~M37-3+70.8) A= 9.04 = 9.04 橋台下部工埋戻し時仮復旧 (A1) V= 0.45 × 4.20 = 1.89 (A2) V= 1.60 × 4.20 = 6.72 Σ = 17.65	m2	17.7
	区画線工	溶融式区画線	白色 実線 W=15cm 外側線・中央線 L= 33.50 + 6.00 + 7.30 + 48.00 + 30.80 + 30.00 = 155.60	m	155.6
		溶融式区画線	白色 破線 W=15cm 中央線 L= 5.00 + 2.10 = 7.10	m	7.1
		溶融式区画線	白色 ゼブラ W=30cm 停止線 L= 3.00 = 3.00	m	3.0
		溶融式区画線	白色 ゼブラ W=45cm 横断歩道 L= 3.00 × 3.00 = 9.00	m	9.0
		溶融式区画線	白色 矢印文字記号 W=15cm換算 中心点 L= 62.90 = 62.90	m	62.9
		溶融式区画線	黄色 矢印文字記号 W=15cm換算 最高速度「50」 L= 18.60 = 18.60	m	18.6
	コンクリートブロック工				

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		床掘り	機械 BH0.28 $V = 1.00 \times 6.30 + 1.20 \times 13.60 = 22.62$	m3	22.6
		埋戻し	機械 BH0.28 RC-40 $V = 0.15 \times 6.30 + 0.15 \times 13.60 = 2.99$	m3	3.0
		土砂等運搬	4t積 $V = 22.62 = 22.62$	m3	22.6
		大型ブロック張	1000×1000×120 河川護岸工法図より 左岸側 $A = 6.00 \times 3.50 = 21.00$ 右岸側 $A = 13.00 \times 3.50 = 45.50$ $\Sigma = 66.50$	m2	66.5
		基礎コンクリート	18-8-40(BB) $L = 6.00 + 13.00 = 19.00$	m	19.0
		間詰コンクリート	既設ブロック積、張ブロック間 18-8-25(BB) t=10cm $A = 0.35 \times (6.30 + 13.60) = 6.97$	m2	7.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		張コンクリート	18-8-25(BB) t=10cm (左岸) $A = (1.30 + 1.60) / 2.00 \times 6.30 - (1.30 + 1.35) / 2.00 \times 1.00 = 7.81$ (右岸) $A = 1.50 \times 13.60 - 1.40 \times 1.00 = 19.00$ $\Sigma = 26.81$	m2	26.8
		目地板	樹脂発泡体 t=10mm 右岸側 河川護岸工法図より $A = 3.50 \times 0.12 + 1.50 \times 0.10 \times 2.00 = 0.72$	m2	0.7
		小口止コンクリート	左右岸 河川護岸工法図より $N = 3.00$	基	3.0
	道路付属物撤去工	コンクリート構造物取壊し運搬処理	無筋構造物 (張コンクリート) 取壊し及び復旧図より $V = (31.60 + 38.00) \times 0.10 = 6.96$	m3	7.0
		ガードレール撤去	Gr-C-4E 再利用撤去 取壊し及び復旧図より $L = 2.50 + 3.40 + 16.20 = 22.10$	m	22.1
	道路付属物復旧工	ガードレール	Gr-C-4E 既設再利用 取壊し及び復旧図より $L = 2.50 + 3.40 + 16.20 = 22.10$	m	22.1
	機械付帯工				

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
仮設工	工事用道路工	電線管	FEPφ50×3 N= 1.00	別紙単位数量計算書参照 = 1.00	式	1.0
		敷鉄板	3,048×1,524 N= 1.00	= 1.00	式	1.0
		土のう	N= 1.00	= 1.00	式	1.0
水管橋上部工(DIP75mm) 架設工	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員(B) N= 100.00	= 100.00	人日	100.0
		水管橋材料	水管橋数量集計表より N= 1.00	= 1.00	式	1.0
		ダクタイル鋳鉄管布設工	φ75 GX形(FGX形) 陸組 L= 12.90	= 12.90	m	12.9
		GX形継手接合工	φ75 GX形 直管 水管橋数量集計表より N= 4.00	= 4.00	口	4.0
		メニカル継手	φ75 N= 1.00	= 1.00	口	1.0
		フランジ継手	φ75 N= 2.00	= 2.00	口	2.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量		
橋台工	現場塗装工	空気弁設置	φ75-75 GX形 N= 1.00	水管橋数量集計表より = 1.00	基	1.0	
		歩行防止柵設置	鋳鉄管 φ75用 N= 2.00	= 2.00	基	2.0	
		橋体架設	FGX形水管橋 N= 1.00	= 1.00	式	1.0	
		現場塗装(中塗り)	ポリウレタン樹脂塗装 グレー系 A= 0.093 × 3.14 × 11.86 + 0.210 × 3.14 × (0.59 + 0.10) =	ダクタイル鋳鉄管、空気弁(補修弁)等	3.92	m2	3.9
		現場塗装(上塗り)	ポリウレタン樹脂塗装 グレー系 A= 0.093 × 3.14 × 11.86 + 0.210 × 3.14 × (0.59 + 0.10) =	ダクタイル鋳鉄管、空気弁(補修弁)等	3.92	m2	3.9
	仮設工	ステージ足場	水管橋施工図参照 N= 1.00	= 1.00	式	1.0	
	作業土工	床掘り	機械 BH0.28 V= 19.50 + 18.90	橋台土工計算書より = 38.40	m3	38.4	

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		埋戻し	機械 BH0.28 RC-40 橋台土工計算書より $V = 6.60 + 5.10 = 11.70$ 砂基礎部控除 $V = -5.31$ $\Sigma = 6.39$	m3	6.4
		埋戻し	機械 BH0.28 流用土 橋台土工計算書より $V = 2.60 + 3.00 = 5.60$	m3	5.6
		土砂等運搬	$V = 38.40 - 5.60 / 0.90 = 32.18$	m3	32.2
	鋼管回転杭工	鋼管回転杭	$\phi 216.3$ STK490 L=5.75m $N = 4.00$	本	4.0
		回転圧入施工	$\phi 216.3$ L=5.75m $N = 4.00$	本	4.0
	橋台躯体工	杭頭処理	B結合 $N = 4.00$	本	4.0
		橋台躯体	A1橋台(鉄筋:市単独費計上) $N = 1.00$	基	1.0
		橋台躯体	A2橋台(鉄筋:市単独費計上) $N = 1.00$	基	1.0
機械設備工	機械設備工				

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
電気設備工	電気設備工	機器費(機械)	水中ポンプ φ65 0.75KW 2台 N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		機械設備	別紙単位数量計算書参照 N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		機器費(電気)	別紙単位数量計算書参照 N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		電気設備	別紙単位数量計算書参照 N= 1.00 = 1.00	式	1.0
共通仮設費	運搬費	建設機械運搬費	往路・復路 N= 2.00 = 2.00	台	2.0
		仮設材等運搬費	軽量鋼矢板、敷鉄板、ｽﾃｰｼﾞ足場 N= 1.00 = 1.00 (W= 0.909 + 0.355 + 3.208 + 0.900 = 5.372 t)	式	1.0
		仮設材等積込み取卸し	軽量鋼矢板、敷鉄板、ｽﾃｰｼﾞ足場 N= 1.00 (W= 5.372 t) = 1.00	式	1.0
		保安管理費	信号機運用切替(閃光及び戻し) N= 1.00 = 1.00	式	1.0
	安全費				

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	技術管理費	通水試験費	圧送管数量調書（左岸、右岸）、水管橋数量調書より L= 22.70 + 13.29 + 12.86 = 48.85	m	48.9
		X線検査費	二重管埋設部 N= 4.00 = 4.00	枚	4.0
		設計技術費(機械)	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		設計技術費(電気)	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		据付間接費(機械)	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		据付(技術者)間接費(電気)	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		据付(機器)間接費(電気)	N= 1.00 = 1.00	式	1.0

管渠工数量計算書(1)

管種・管径: DIP φ 75mm

掘削機種: BF0.28m³

道路区分	路線番号	測点	追加距離	区間延長	掘削控除延長	掘削延長	土留工使用	掘削幅B	掘削深H		舗装(As)控除厚T1	基礎厚T2	管路土工				土留工なし	管路土留工					軽量支保工(H:掘削深)			
		上流							下流	上流			下流	掘削V	埋戻し購入土	埋戻し再生碎石		残土	軽量鋼矢板土留(L≥H+0.2)					1段梁	2段梁	3段梁
		平均H							L=2.0m	L=2.5m			L=3.0m						L=3.5m	L=4.0m	H≤2.0	H≤3.5	H<4.0			
県道	33-1 (DIP)	M37-3	+28.30	9.30	m	m	無	0.600	0.75	0.75	0.10	0.193	3.63	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		M37-3	+37.60						0.750	0.750									m	m	m	m	m	m	m	m
県道	33-1 (二重管)	M37-3	+37.60	0.37	m	m	無	0.900	0.87	0.87	0.10	0.419	0.26	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		M37-3	+37.97						0.870	0.870									m	m	m	m	m	m	m	m
県道	33-1 (二重管)	M37-3	+37.97	1.30	m	m	無	0.900	0.87	1.13	0.10	0.419	1.05	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		M37-3	+39.27						1.000	1.000									m	m	m	m	m	m	m	m
県道	33-1 (二重管)	M37-3	+39.27	3.63	m	m	無	0.900	1.13	1.12	0.10	0.419	3.35	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		M37-3	+42.90						1.125	1.125									m	m	m	m	m	m	m	m
市道	33-1 (二重管)	M37-3	+42.90	2.50	m	m	無	0.900	1.12	1.11	0.05	0.419	2.40	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		M37-3	+45.40						1.115	1.115									m	m	m	m	m	m	m	m
市道	33-1 (二重管)	M37-3	+45.40	2.93	m	m	無	0.900	1.11	1.08	0.05	0.419	2.76	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		M37-3	+48.33						1.095	1.095									m	m	m	m	m	m	m	m
市道	33-1 (二重管)	M37-3	+66.45	0.55	m	m	無	0.900	1.03	1.02	0.05	0.419	0.48	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		M37-3	+67.00						1.025	1.025									m	m	m	m	m	m	m	m
市道	33-1 (二重管)	M37-3	+67.00	1.61	m	m	無	0.900	1.02	1.05	0.05	0.419	1.43	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		M37-3	+68.61						1.035	1.035									m	m	m	m	m	m	m	m
市道	33-1 (二重管)	M37-3	+68.61	1.03	m	m	無	0.900	1.05	1.50	0.05	0.419	1.14	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		M37-3	+69.64						1.275	1.275									m	m	m	m	m	m	m	m
市道	33-1 (二重管)	M37-3	+69.64	0.80	m	m	有	1.000	1.50	1.85	0.05	0.419	1.30	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		M37-3	+70.44						1.675	1.675									m	m	m	m	m	m	m	m
市道	33-1 (二重管)	M37-3	+70.44	0.36	m	m	有	1.000	1.85	1.86	0.05	0.419	0.65	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m	m	m	m	m	m	m	m
		M37-3	+70.80						1.855	1.855									m	m	m	m	m	m	m	m
	合計			24.38				24.38					18.45			7.35	18.45	23.22	1.16					1.16		

道路区分	路線番号	測点	区間延長	土工減長		管路土工延長	管基礎工		舗装撤去工					舗装恢復旧面積					
		上流		下流	砂基礎		碎石基礎	舗装(As)幅b	舗装(As)厚T	舗装(As)切斷	破砕面積	運搬処分	As厚t1	路盤厚t2	舗装面積A1	舗装面積A2	路盤面積A1	路盤面積A2	
		上流		下流	m ³		m ³	m	m	m	m ²	m ³	m	m	m ²	m ²	m ²	m ²	
県道	33-1 (DIP)	+28.3	9.30			9.30	1.01		0.600	0.10	18.60	5.58	0.56	0.05	0.29		5.58		5.58
		+37.6																	
県道	33-1 (二重管)	+37.6	0.37			0.37	0.11		0.900	0.10	0.74	0.33	0.03	0.05	0.29		0.33		0.33
		+37.97																	
県道	33-1 (二重管)	+37.97	1.30			1.30	0.39		0.900	0.10	2.60	1.17	0.12	0.05	0.29		1.17		1.17
		+39.27																	
県道	33-1 (二重管)	+39.27	3.63			3.63	1.08		0.900	0.10	7.26	3.27	0.33	0.05	0.29		3.27		3.27
		+42.9																	
市道	33-1 (二重管)	+42.9	2.50			2.50	0.74		0.900	0.05	5.00	2.25	0.11	0.03	0.22		2.25		2.25
		+45.4																	
市道	33-1 (二重管)	+45.4	2.93			2.93	0.87		0.900	0.05	5.86	2.64	0.13	0.03	0.22		2.64		2.64
		+48.33																	
市道	33-1 (二重管)	+66.45	0.55			0.55	0.16		0.900	0.05	1.10	0.49	0.02	0.03	0.22		0.49		0.49
		+67																	
市道	33-1 (二重管)	+67	1.61			1.61	0.48		0.900	0.05	3.22	1.45	0.07	0.03	0.22		1.45		1.45
		+68.61																	
市道	33-1 (二重管)	+68.61	1.03			1.03	0.31		0.900	0.05	2.06	0.93	0.05	0.03	0.22		0.93		0.93
		+69.64																	
市道	33-1 (二重管)	+69.64	0.80			0.80	0.27		1.100	0.05	1.60	0.88	0.04	0.03	0.22		0.88		0.88
		+70.44																	
市道	33-1 (二重管)	+70.44	0.36			0.36	0.12		1.100	0.05	0.72	0.40	0.02	0.03	0.22		0.40		0.40
		+70.8																	
	合計		24.38				5.54				48.76	19.39	1.48				19.39		19.27

管渠工数量計算書(2)

管種・管径： DIP φ 75mm

掘削機種： BF0.28m³

道路 区分	路線 番号	測点	掘削		掘削 幅 B	掘削 深 H	土留工 使用	掘削 幅 B	掘削深 H		舗装(As) 控除厚 T1	基礎厚 T2	管 路 土 工				土留工 なし	管路土留工					軽量支保工(H:掘削深)											
			上流	追加距離					区間 延長	上流			下流	掘削 V	埋戻し 購入土	埋戻し 再生碎石		残土	軽量鋼矢板土留 (L≥H+0.2)					1段梁	2段梁	3段梁								
		下流	〃		平均 H								L=2.0m	L=2.5m	L=3.0m	L=3.5m	L=4.0m	H≤2.0	H≤3.5	H<4.0														
		m		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m														
県道	33-1 (DIP)	M37-3	+70.80						1.73	1.79	0.10	0.193	5.60		4.14	5.60			3.75						3.75									
県道	33-1 (DIP)	M37-3	+74.55	3.75			3.75	有	0.900	1.760	0.10	0.193	5.60		4.14	5.60			3.75						3.75									
県道	33-1 (DIP)	M37-3	+74.90				0.35	有	0.900	1.795	0.10	0.193	0.53		0.40	0.53			0.35						0.35									
県道	33-1 (DIP)	M37-3	+74.90						1.80	1.82																								
県道	33-1 (DIP)	M37-3	+76.57	1.67			1.67	有	0.900	1.810	0.10	0.193	2.57		1.92	2.57			1.67						1.67									
合計				5.77			5.77						8.70		6.46	8.70			4.10	1.67					5.77									

道路 区分	路線 番号	測点	区間 延長	土工減長		管路土 工 延長	管基礎工		舗装撤去工				舗装仮復旧面積																						
				人孔内径等を控除	管基礎		砕石基礎	舗装(As) 幅b	舗装(As) 厚 T	舗装(As) 切断	破砕 面積	運搬 処分	As厚 t1	路盤厚 t2	舗装面積 A1	舗装面積 A2	路盤面積 A1	路盤面積 A2																	
		上流	下流	砂基礎 砂基礎	RC-40	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m																	
県道	33-1 (DIP)	+70.8																																	
県道	33-1 (DIP)	+74.55	3.75			3.75	0.63		1.000	0.10	7.50	3.75	0.38	0.05	0.29					3.75								3.38							
県道	33-1 (DIP)	+74.90	0.35			0.35	0.06		1.000	0.10	0.70	0.35	0.04	0.05	0.29					0.35								0.32							
県道	33-1 (DIP)	+74.90																																	
県道	33-1 (DIP)	+76.57	1.67			1.67	0.28		1.000	0.10	3.34	1.67	0.17	0.05	0.29					1.67								1.50							
合計			5.77				0.97				11.54	5.77	0.59							5.77								5.20							

圧送管数量集計表

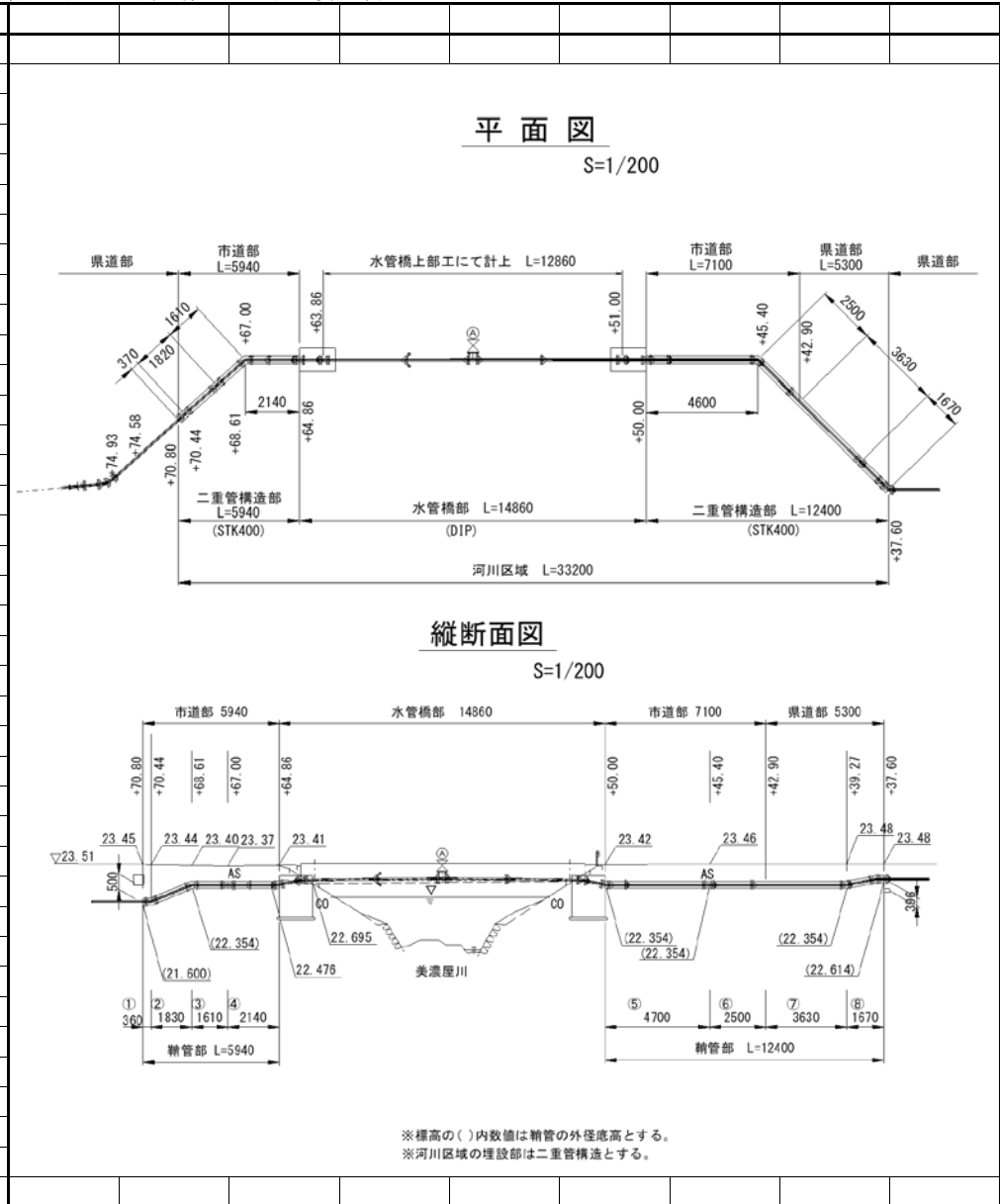
ダクタイル鋳鉄管 GX形 DIP φ75

種 別	規 格 寸 法	寸 法 (m)	単 位	美濃屋川 右岸側		美濃屋川 左岸側		合 計		摘 要
				数 量	延 長	数 量	延 長	数 量	延 長	
<圧送管材料>										
直管	φ75 GX形 S種管 4.00m/本		本	2.0					2.0	
直管	φ75 GX形 1種管 4.00m/本		本	4.0		2.0			6.0	
曲管	φ75 GX形 45°	0.400	本	1.0	0.400				1.0	0.400
曲管	φ75 GX形 22° 1/2	0.360	本			1.0	0.360		1.0	0.360
曲管	φ75 GX形 11° 1/4	0.340	本	4.0	1.360	3.0	1.020		7.0	2.380
両受曲管	φ75 GX形 45°	0.140	本	1.0	0.140	1.0	0.140		2.0	0.280
両受曲管	φ75 GX形 22° 1/2	0.100	本			2.0	0.200		2.0	0.200
可とう管	φ75 GX形	0.740	基	1.0	0.740	1.0	0.740		2.0	1.480
ラケ	φ75 GX形	0.029	組	4.0	0.116	2.0	0.058		6.0	0.174
接合部品	φ75 GX形	---	個	10.0	---	12.0	---		22.0	---
継輪	φ75 GX形	0.190	本	1.0	0.190				1.0	0.190
短管1号	φ75 GX形	0.080	本			1.0	0.080		1.0	0.080
ゴム製伸縮可とう管	φ75	0.350	個			1.0	0.350		1.0	0.350
片フランジ短管	80A	0.400	個			1.0	0.400		1.0	0.400
切管用挿し口リング	φ75 GX形	---	個	7.0	---	7.0	---		14.0	---
管明示テープ	年号入り	---	m	21.3	---	11.9	---		33.2	---
絶縁フランジ接合材	φ75 ホルトナット、RFハッキング	---	組			1.0	---		1.0	---
絶縁フランジ接合材	φ75 ホルトナット、GFハッキング	---	組			1.0	---		1.0	---
<管布設工>										
ダクタイル鋳鉄管布設工	φ75 GX形	---	m	22.0	---	11.8	---		33.8	---
GX形継手接合工	φ75 GX形 直管	---	口	6.0	---	2.0	---		8.0	---
GX形継手接合工	φ75 GX形 異形管	---	口	10.0	---	12.0	---		22.0	---
GX形挿し口加工	φ75 GX形	---	口	7.0	---	7.0	---		14.0	---
鋳鉄管切断	φ75 GX形 溝切のみ	---	口	7.0	---	7.0	---		14.0	---
鋳鉄管切断	φ75 GX形 切断のみ	---	口	6.0	---	6.0	---		12.0	---
伸縮可撓管設置工	φ75 U-S	---	基	1.0	---	1.0	---		2.0	---
伸縮可撓管設置工	φ75 F-F	---	基			1.0	---		1.0	---
フランジ継手	φ75	---	口			2.0	---		2.0	---
埋設標識テープ	巾15cm	---	m	21.3	---	11.9	---		33.2	---
ポリエチレンスリーブ工		---	m	9.2	---	6.3	---		15.5	---
管明示テープ工		---	m	21.3	---	11.9	---		33.2	---
メカニカル継手はずし工		---	口	1.0	---				1.0	---
鋼管布設	80A	---	m			0.4	---		0.4	---

幹管 φ300

二重管構造部数量計算書

管番号	形状寸法	単位延長	個数	延長	スペーサー	重量
①	318.5 (STK400)	0.360	1	0.360	1	
②	318.5 (STK400)	1.830	1	1.830	2	
③	318.5 (STK400)	1.610	1	1.610	2	
④	318.5 (STK400)	2.140	1	2.140	2	
⑤	318.5 (STK400)	4.700	1	4.700	4	
⑥	318.5 (STK400)	2.500	1	2.500	2	
⑦	318.5 (STK400)	3.630	1	3.630	3	
⑧	318.5 (STK400)	1.670	1	1.670	2	
	合計		8	18.440	18	
管本数・重量	φ 318.5 t=6.0mm (46.2kg/m)	6.000	4	24.000		1.11 t
スペーサーバント	@1500		18			
管切断工	φ 318.5		8			
溶接工			6			



水管橋数量集計表

ダクタイル鋳鉄管 GX形 DIP φ75

種 別	規 格 寸 法	寸 法 (m)	単 位	水管橋部						合 計		摘 要	
				数 量	延 長					数 量	延 長		
<水管橋材料>													
甲切管	φ75 FGX-GX形 1種管 4.00m/本	2.829	本	2.0	5.658						2.0	5.658	N=1式
甲切管	φ75 GX形 1種管	3.200	本	2.0	6.400						2.0	6.400	
両挿しフランジ付きT字管	φ75×φ75 FGX形	0.802	個	1.0	0.802						1.0	0.802	
FGX付属品	φ75 FGX形 テーパーリング・ホルトナット等	---	組	2.0	---						2.0	---	
回転止金具	φ75 GX形	---	個	1.0	---						1.0	---	
下水道用空気弁	φ75 GX形 補修弁付	---	基	1.0	---						1.0	---	
歩行防止柵	鋳鉄管用φ75	---	基	2.0	---						2.0	---	
絶縁フランジ 接合材	φ75 ホルトナット、GFハッキン	---	組	1.0	---						1.0	---	
<架設工>													
ダクタイル鋳鉄管布設工	φ75 GX形	---	m	12.9	---						12.9	---	
GX形継手接合工	φ75 GX形 直管	---	口	4.0	---						4.0	---	
メカニカル継手	φ75	---	口	1.0	---						1.0	---	
フランジ継手	φ75	---	口	2.0	---						2.0	---	
空気弁設置		---	基	1.0	---						1.0	---	
歩行防止柵設置		---	基	2.0	---						2.0	---	
橋体架設		---	式	1.0	---						1.0	---	

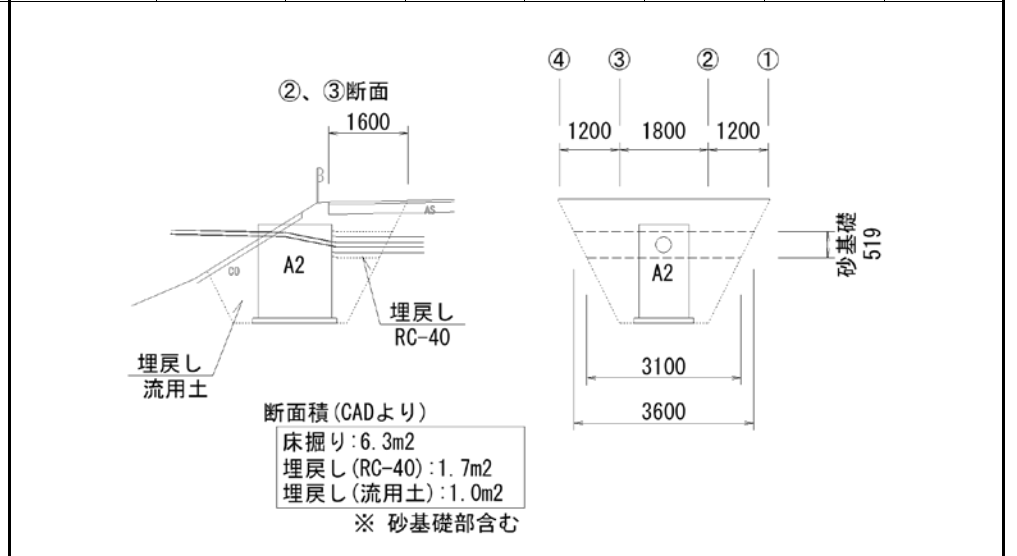
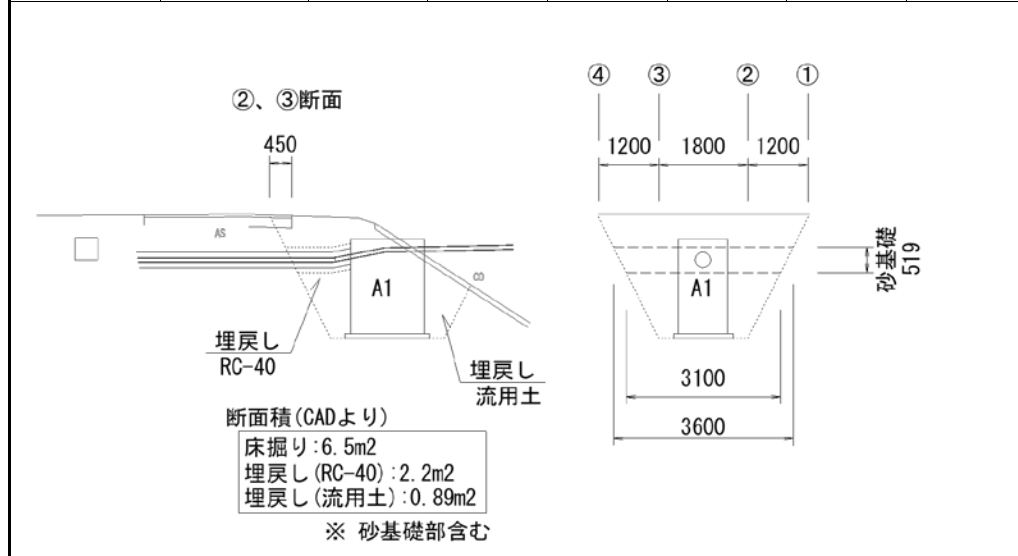
ダクタイル鋳鉄管 GX形 DIP φ75 水管橋数量調書

水管橋部

材 料				管 布 設 工													
名 称	単位 延長 (m)	数 量	延 長 (m)	FGX 付属品 (個)	フランジ 接合材 (個)	布設工 (m)	GX形継手接合工		挿し口 加工 (口)	幼ニカル 継手工 (口)	フランジ 継手工 (口)	空気弁 設置工 (基)				切管 番号	
							直管 (口)	異形管 (口)									
GX形 甲切管 φ75	3.200	1	3.200			3.200	1										
GX形回転止め金具 φ75		1								1							
FGX-GX形 直管 φ75	2.829	1	2.829			2.829	1										
FGX形 両挿しフランジ付きT字管 φ75	0.802	1	0.802	2		0.802					2						
下水道用速空気弁(補修弁付) φ75		1			1							1					
FGX-GX形 直管 φ75	2.829	1	2.829			2.829	1										
GX形 甲切管 φ75	3.200	1	3.200			3.200	1										
			12.860	2	1	12.860	4	0	0	1	2	1					

橋台土工計算書

測点	区間 距離	床掘り		埋戻し (RC-40)		埋戻し (流用土)		測点	区間 距離	床掘り		埋戻し (RC-40)		埋戻し (流用土)	
		断面	数量	断面	数量	断面	数量			断面	数量	断面	数量	断面	数量
		m	m ²	m ³	m ²	m ³	m ²			m ³	m	m ²	m ³	m ²	m ³
A1橋台側								A2橋台側							
①	0.00	0.0		0.0		0.0		①	0.00	0.0		0.0		0.0	
②	1.20	6.5	3.9	2.2	1.3	0.89	0.5	②	1.20	6.3	3.8	1.7	1.0	1.0	0.6
③	1.80	6.5	11.7	2.2	4.0	0.89	1.6	③	1.80	6.3	11.3	1.7	3.1	1.0	1.8
④	1.20	0.0	3.9	0.0	1.3	0.0	0.5	④	1.20	0.0	3.8	0.0	1.0	0.0	0.6
合計	4.2		19.5		6.6		2.6		4.2		18.9		5.1		3.0



単位数計算書

細別	電線管		1.0式				
規格	FEP50mm×3本		当り				
名称	算式	単位	数量				
舗装版切断	As版 L= 1.25 × 2.00 = 2.50	m	2.5	埋設標識シート	W=150 2倍 L= 2.45 = 2.45	m	2.5
舗装版破碎	As版 A= 1.25 × 0.70 = 0.88	m ²	0.9	砂基礎	V=(0.322 × 0.70 - 0.065 × 0.065 × 3.14 / 4.00 × 3.00) × 2.45 = 0.53	m ³	0.5
殻運搬	As殻 V= 0.88 × 0.10 = 0.09	m ³	0.09	路盤	(砂材料) V= 0.53 × 1.26 = 0.67		
殻処分	As殻 V= 0.09 = 0.09	m ³	0.09			RC-40 t=29cm A= 0.70 × 1.25 = 0.88	m ²
床掘り	V= 0.772 × 0.70 × 1.25 + 0.822 × 0.70 × 1.20 = 1.37	m ³	1.4	表層	再生密粒度As(13) t=5cm A= 0.70 × 1.25 = 0.88	m ²	0.9
埋戻し	RC-40 V= 0.70 × 0.16 × 1.25 = 0.14	m ³	0.1				
埋戻し	流用土 V= 0.70 × 0.50 × 1.20 = 0.42	m ³	0.4				
土砂等運搬	床掘りより V= 1.37 = 1.37	m ³	1.4				
電線管	FEP50×3本 L= 2.45 × 3.00 = 7.35	m	7.4				
FEP [®] ルマックス	φ50 N= 3.00 = 3.00	個	3.0				

単 位 数 量 計 算 書

細別	敷鉄板	1.0式	細別	土のう	1.0式		
規格	3.048×1.524	当り	規格		当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
敷鉄板	A1橋台側 鋼管杭～上部工架設時 設置・撤去・賃料 A= 3.048 × 1.524 × 2.00 = 9.29	m2	9.3	A1橋台側 鋼管杭施工時 水路側 V= 0.32 × 3.048 = 0.98 河川側 V= 0.11 × 3.048 = 0.34			
敷鉄板	A2橋台側 鋼管杭施工時 (A1橋台側分1枚転用・戻し) A= 3.048 × 1.524 × 2.00 = 9.29	m2	9.3	A2橋台側 鋼管杭施工時 河川側 V= 0.11 × 3.048 = 0.34			
(敷鉄板賃料)	供用日数			上部工架設時 V= 1.20 × 3.048 × 2.00 = 7.32			
	① 鋼管杭 N= 4.0 / = 日			仕拵～撤去 N= 7.32 / 0.02 = 366.00	袋	366	
	② 下部工床掘り N= 38.4 / = 日						
	③ 下部工埋戻し N= 6.4 / = 日			土のう 積立・撤去 N= 0.34 / 0.02 × 2 = 34.00			
	④ 橋台躯体コンクリート N= 5.6 / = 日			= 34	袋	34	
	⑤ 橋台躯体型枠 N= 19.0 / = 日						
	⑥ 橋台躯体均しコンクリート N= 0.4 / = 日			土砂撤去 V= 366.00 × 0.02 = 7.32	m3	7.3	
	⑦ 橋台躯体均し型枠 N= 1.2 / = 日			現場発生品運搬 土のう袋 (参考重量0.04kg/袋) W= 0.04 × 366.00 = 14.64			
	⑧ 上部工 掘付(陸組) L= 12.9 / = 日			= 0.015	t	0.02	
	⑨ 上部工 架設 N= = 日						
	Σ = 日			処分費 土のう袋 W= 14.64 / 1000.00 = 0.015	t	0.02	
	不稼働係数 N= 日						
	コンクリート養生期間 日 Σ = 18.22 日						
敷鉄板	A1橋台側 下部工床掘り～上部工架設時 設置・撤去・賃料 A= 3.048 × 1.524 × 2.00 = 9.29	m2	9.3				
(敷鉄板賃料)	供用日数 上記②～⑨ N= = 日						
	不稼働係数 N= 日						
	コンクリート養生期間 日 Σ = 14.82 日						
	重量 0.802t/枚より W= 0.802 × 4 = 3.208 t						

単位数計算書

細別	機械設備	1.0式	細別	機器費(電気)	1.0式		
規格		当り	規格		当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
輸送費	1.00	式	1.0	ポンプ制御盤	SUS製屋外装柱形 0.75KW 単独交互運転 直入れ	面	1.0
材料費	1.00	式	1.0	引込開閉器盤	SUS製屋外装柱形 2回路用 200V-100V 0.75KW	面	1.0
	ステンレス管 SUS304 Sch20 80A 1.66 m			投込式水位計	AC200V 測定範囲0~5m	組	1.0
	ステンレス管 SUS304 Sch20 65A 5.26 m						
	ステンレス管 SUS304 Sch20 20A 1.41 m						
	附属品費 1.00 式						
	逆止弁 SUS製 65A F付 ホール式逆止弁 2.00 個						
	止水弁 SUS製 65A F付 10K ホール付 2.00 個						
	空気弁 SUS製 20A 引込 10K ホール式逆止弁 2.00 個						
	流入ハットル SUS304 200A用 L=2500 1.00 組						
	諸雑費 1.00 式						
労務費	1.00	式	1.0				
複合工費	1.00	式	1.0				
	型枠 $(0.25+0.60) \times 0.25 \times 2=0.43m^2$						
	コンクリート $1.2 \times 1.2 \times \pi/4 \times 0.316-0.086 \times (1.2 \times 1.2+1.2 \times 0.6+0.6 \times 0.6) \times \pi/12$						
	$-0.60 \times 0.25 \times 0.25=0.26m^3$						
直接経費	1.00	式	1.0				
	機械経費 1.00 日						
	軽微な機械器具損料 1.00 式						
仮設費	1.00	式	1.0				

単 位 数 量 計 算 書

細別	電気設備		1.0式						
規格			当り						
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
輸送費	1.00		式	1.0	複合工費	1.00		式	1.0
材料費	1.00		式	1.0	コンクリート柱建柱	1.00 本			
	電線類 EM-CE 600V 5.5sq-3c	5.17 m			基礎碎石	$0.6 \times 0.6 - 0.20 \times 0.20 \times \pi / 4$ =0.33m2			
	電線類 EM-CE 600V 5.5sq-2c	4.62 m			型枠	$0.6 \times 0.5 \times 4 = 1.2m2$			
	電線類 EM-CE 600V 2sq-2c	3.08 m			コンクリート	$0.5 \times (0.6 \times 0.6 - 0.20 \times 0.20 \times \pi / 4)$ =0.16m3			
	電線類 EM-IE 5.5sq	3.19 m			直接経費	1.00		式	1.0
	雑材料	1.00 式			仮設費	1.00		式	1.0
	電線管 HIVE42	1.11 m							
	電線管 HIVE22	6.71 m							
	電線管 HIVE16	3.08 m							
	電線管 HIVE14	1.65 m							
	雑材料	1.00 式							
	電線管 金属可とう電線管φ30	2.42 m							
	電線管 金属可とう電線管φ24	3.30 m							
	雑材料	1.00 式							
	FEP異種管継手 FEP50 H型	3.00 個							
	ﾌﾞﾙｯｸｽ 完全防水SUS製 200*200150	1.00 個							
	連結式設置棒 リｰﾄﾞ端子共 φ14*1500L 2連結式	3.00 組							
	接地極埋設標示板 電柱用ﾊﾞﾝﾄﾞ付 国土交通省 黄銅製	1.00 枚							
	回転灯 取付金具共	1.00 個							
	ﾌﾟｰﾄﾞｽｲｯﾁ 1個付	1.00 組							
	雑材料費	1.00 式							
労務費	1.00		式	1.0					

単 位 数 量 計 算 書

細別	保安全管理費		1.0式	細別			1.0式		
規格			当り	規格			当り		
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量
交通信号機 運用切替	閃光及び戻し N= 20.00	= 20.00	回	20.0					

舗装工面積計算書

No. 1

県道部

市道部

測 点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (㎡)	備 考
自: No. 0	20.00	3.30	66.0	
至: No. 1		3.30		
自: No. 1	12.30	3.30	40.6	
至: No. 1 + 12.30		3.30		
自: No. 1 + 12.30	3.80	3.30	14.6	
至: No. 1 + 16.10		4.40		
自: No. 1 + 16.10	0.80	4.40	3.8	
至: No. 1 + 16.90		5.05		
自: No. 1 + 16.90	3.10	5.05	15.7	
至: No. 2		5.05		
自: No. 2	5.10	5.05	25.8	
至: No. 2 + 5.10		5.05		
自: No. 2 + 5.10	1.00	5.05	4.4	
至: No. 2 + 6.10		3.80		
自: No. 2 + 19.60	0.40	3.30	1.3	
至: No. 3		3.30		
自: No. 3	20.00	3.30	66.0	
至: No. 4		3.30		
自: No. 4	20.00	3.30	66.0	
至: No. 5		3.30		
自: No. 5	7.60	3.30	25.1	
至: No. 5 + 7.60		3.30		
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	94.10		329.3	

測 点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (㎡)	備 考
自: No. 0	5.00	3.00	15.1	A1橋台側
至: No. 0 + 5.00		3.05		
自: No. 0 + 5.00	2.40	3.05	9.7	A1橋台側
至: No. 0 + 7.40		5.00		
自:				
至:				
自: No. 0	2.90	7.60	22.0	A2橋台側
至: No. 0 + 2.90		7.60		
自: No. 0 + 2.90	2.10	7.60	16.4	A2橋台側
至: No. 0 + 5.00		8.00		
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	12.40		63.2	

令和5年度下工公補第17号

安濃第1污水幹線築造工事

数量総括表

(市単独工事)

レベル : 管路

レベル : 共通仮設

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
付帯工	充填工	充填工	単位数量計算書参照 N= 1.00	= 1.00	式	1.0
		注入・吐出設備設置工	単位数量計算書参照 N= 1.00	= 1.00	式	1.0
仮設工	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員(B) 昼 N= 4.00	= 4.00	人日	4.0
		交通誘導警備員	交通誘導警備員(B) 夜 N= 10.00	= 10.00	人日	10.0
雑工	雑工	標識設置撤去	河川名標識 N= 1.00	= 1.00	基	1.0
橋台工	橋台躯体工	橋台躯体	鉄筋 A1側、A2側 N= 1.00 (W= 0.076 + 0.076 = 0.152 t)	= 1.00	式	1.0
共通仮設費						

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	事業損失防止施設費	試掘調査	単位数量計算書より N= 1.00 = 1.00	箇所	1.0
	技術管理費	土質等試験費	コーン指数調査 N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		通水試験費	既設管部 L= 28.00 = 28.00	m	28.0

単位数計算書

細別	試掘調査		1.0箇所	細別	充填工		1.0式			
規格			当り	規格			当り			
名称	算式		単位	数量	名称	算式		単位	数量	
舗装版切断	$(1.00 + 1.00) \times 2 = 4.00$		m	4.0	材料費	モルタル				
舗装版破碎	$1.00 \times 1.00 = 1.00$		m ²	1.0		$V = \left(\frac{0.30 \times 0.30 \times 3.14}{4.00} - \frac{0.09 \times 0.09 \times 3.14}{4.00} \right) \times 18.40 = 1.18$		m ³	1.2	
殻運搬	$1.00 \times 0.05 = 0.05$		m ³	0.1	施工費	充填工				
殻処分	0.05		m ³	0.1		$V = 1.18 = 1.18$		m ³	1.2	
掘削(機械)	$1.00 \times 1.00 \times 0.85 = 0.85$		m ³	0.9	機械損料	$N = 1.00 = 1.00$		式	1.0	
掘削(人力)	$1.00 \times 1.00 \times 0.30 = 0.30$		m ³	0.3	プラント積込・積卸費	$N = 1.00 = 1.00$		日	1.0	
埋戻	$1.00 \times 1.00 \times 1.17 = 1.17$		m ³	1.2	コンクリート	18-8-25(BB)				
RC-40	流用土	$(0.85 + 0.30) \times 0.90 = 1.04$				$V = \left(\frac{0.30 \times 0.30 \times 3.14}{4.00} - \frac{0.06 \times 0.06 \times 3.14}{4.00} \right) \times 2.00 \times 0.20 \times 4.00 = 0.05$		m ³	0.05	
		$(1.17 - 1.04) \times 1.20 = 0.16$		m ³	0.2	型枠	$A = \left(\frac{0.30 \times 0.30 \times 3.14}{4.00} - \frac{0.06 \times 0.06 \times 3.14}{4.00} \right) \times 2.00 \times 4.00 = 0.26$		m ²	0.3
表層	再生密粒度As(13) t=3cm	$1.00 \times 1.00 = 1.00$		m ²	1.0					

単位数計算書

細別	材料費	100.0m3	細別	注入吐出設備設置工	1.0式		
規格		当り	規格		当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
ペ-スモルタル (エアモルタル用)	1:3高炉 V= 53.00 = 53.00	m3	53.0	硬質塩ビ管	φ50 (0.20 + 0.20 + 0.20) × 8.00 / 4.00 = 1.20	本	2.0
ペ-スモルタル 空屯料	V= 53.00 = 53.00	m3	53.0	硬質塩化ビニル 管据付工	φ50 L= (0.20 + 0.20 + 0.20) × 8.00 = 4.80	m	4.8
起泡材	FA-100 W= 94.00 = 94.00	kg	94.0				
水	W= 1.79 = 1.79	t	1.8				

令和5年度下工公補第17号
安濃第1污水幹線築造工事
(マンホールポンプ設置工事)

機器仕様書

1 工事概要

本工事は、公共下水道の污水管路における污水の中継ポンプを設置することを目的とする。
設置するポンプは土木工事により施工済みのマンホール内に水中ポンプを2台設置するものである。

また、設置したポンプを運転するための受電及び制御のための電気設備を設置するものである。

第1節 機械設備

1 水中ポンプ

(1) 仕様

施設名	M33-2-1
マンホール番号	着脱式水中モーターポンプ
形式	ノンクロッグ
羽根車形状	
フライホイール	無し
口径	φ65mm
吐出量	0.16m ³ /min
全揚程	4.5m
電動機出力	0.75kW
電極	4P
周波数	60Hz
電源	3φ 200V 60Hz
通過粒径	100%
始動方式	直入れ
吸込管	有り (釜場設置)
保護装置	オートカット
数量	2台

(2) 使用材料

ケーシング	FC200以上
羽根車	SCS13
主軸	13Crステンレス鋼
着脱ベント	FC200以上
吊上チェーン	SUS304
ガイドホルダー	SUS304
ガイドパイプ	SUS304
吸込ノズル	SUS304
同上固定金具	SUS304

(3) 構造概要及び製作条件

- ア ポンプは性能の安定したもので、使用流量範囲において電動機が過負荷にならないものとする。また、水中汚水ポンプ羽根車形状は、固形物の詰まりにくい構造とする。
- イ ポンプケーシングは滑らか且つ堅牢なもので、衝撃、摩耗、腐蝕を考慮した肉厚のものとする。
- ウ ポンプ羽根車は良質強靱な材質とし、バランスのとれた安定した性能を発揮するものとする。
- エ 主軸は動力伝達と危険速度を考慮した十分な強度を有するものとする。
- オ 軸受は荷重に対して最適な構造の支持容量を有する耐久力のあるものとする。
- カ 軸封部にはダブルメカニカルシールを使用し、モータへの浸水を防止する。
- キ ポンプの吸込口はスカム対策構造とし、ポンプケーシング吸込口に吸込ノズルを設けることとする。

(4) 付属品

- 防水ケーブ
着脱ベント
吊上チェーン
ガイドホルダー
ガイドパイプ
吸込管
その他必要なもの
- 一式
一式
一式
一式
一式
一式
一式

(5) 試験、検査

- ア 性能試験及び検査は製造者が行うものとし、性能試験結果については試験成績表を提出すること。

イ ポンプ性能試験は JIS-B8301 又は JIS-B8302 に準拠すること。

(6) 塗装

ポンプ製作会社標準防食、防錆仕様とする。

(7) その他事項

水撃対策については、実際（推定）のポンプ運転点における水撃計算を行い装置の製作にあたるものとする。また、水撃計算書は承諾図と合せ提出し、承諾を得ること。

2 材料仕様

(1) ポンプ用逆止弁

ア 仕様

形式	2F ボール式逆止弁
口径	φ65 mm
フランジ規格	JIS 10K 適合
数量	2個/箇所
その他	フランジ接合材、SUS、BNP を含む。

イ 構造

弁は閉鎖時の急激な水撃圧に対して十分な耐久力のあるもので、水密が十分に保たれるものとし、開閉動作は確実なもので、流水抵抗の極力少ないものとする。

ウ 主要材料

弁箱 SCS13
弁体 ゴム/NBR

(2) ポンプ用止水弁

ア 仕様

形式 2F ボール弁
口径 φ65 mm
フランジ規格 JIS 10K 適合
数量 2個/箇所
その他 フランジ接合材、SUS、BNPを含む。

イ 構造

弁は閉鎖時の急激な水撃圧に対して十分な耐久力のあるもので、水密が十分に保たれるものとし、開閉動作は確実なもので、流水抵抗の極力少ないものとする。

ウ 主要材料

弁箱 SCS13
弁体 SUS304 又は SCS13

(3) 空気抜弁

ア 仕様

形式 ボール弁
口径 φ20 mm
フランジ規格 ねじ込式
数量 2個/箇所

イ 構造

弁は閉鎖時の急激な水撃圧に対して十分な耐久力のあるもので、水密が十分に保たれるものとし、開閉動作は確実なもので、流水抵抗の極力少ないものとする。

ウ 主要材料

弁箱 SCS13
弁体 SUS304 以上

(4) 吐出管

ア 仕様

立上管径 φ65 mm
ヘッダー管径 φ80 mm
圧送管径 φ75 mm
材料 SUS304 Sch20
施工範囲 水中ポンプからマンホール内既設管まで

イ 構造

管種は配管用ステンレス鋼管とする。

水中ポンプと吐出管の接合部は分解の際に便利な構造とすること。

管継手はフランジ継手とし、規格は JIS10K とする。また、接続用ボルト・ナットはステンレス製とし、良質ゴムパッキンを付属すること。

ポンプ起動時の空転防止として、逆止弁の下部より空気抜き用の小バルブを設けること。

(5) サポート及び流入バルブ

ア 材質

サポート SUS304 又は同等品以上

流入バルブ SUS304 又は同等品以上

イ 構造

マンホール内の機器等は、必要に応じてサポートにて固定するものとする。

ウ 付属品

固定ボルト・ナット (SUS304) 一式

第2節 電気設備

1 引込開閉器盤

(1) 仕様

形式 屋外装柱取付形 (SUS 製)

概略寸法 設計図を参照し承諾図により決定

板厚 t=1.5 mm以上

塗装色 ワンセル 5Y7/1

対象機器 水中ポンプ出力 0.75kW

数量 1面

(2) 主要盤内取付器具

切換カバースイッチ 1個

配線用遮断器 (内 1個は取付スペース確保のみ) 3個

電力量計 (電力会社支給) 取付スペース 2個

発電機用 3P コンセント 1個

内部配線及び端子台 一式

その他必要なもの 一式

(3) 付属品 取付金具 (SUS 製)

発電機接続ケーブル (10m) 1組

(4) その他

停電時の対策として、発電電源と手動で切り換えができるように、引込開閉器盤に電源切換用開閉器を設けるものとする。また、可搬式発電機との接続作業が迅速に行えるよう接続用コンセント付とし、雨天時に盤面扉を閉鎖した状態で接続可能なものとする。

2 水中ポンプ制御盤

(1) 仕様

形式	屋外装柱取付形 (SUS 製)
概略寸法	設計図を参照し承諾図により決定
板厚	t=2.0 mm以上
塗装色	ワンセル 5Y7/1
運転方法	単独交互運転 (故障時自動飛び越し回路付)
始動方式	直入れ (200V×0.75kW×2台)
現場警報	回転灯の点灯
対象機器	水中ポンプ出力 0.75kW
数量	1面

(2) 主要盤面取付器具

電圧計	1個
電流計	2個
積算運転時間計	2個
切替スイッチ	2個
集合表示灯 (LED)	1組
押釦スイッチ	一式
名称銘板、その他必要なもの	一式

(3) 主要盤内収納機器

配線用遮断器	一式
漏電遮断器	3個
電磁接触器	2個
進相コンデンサ	2個
3Eリレー	2個
水位計変換器類 (※詳細別途)	1組
非常通報装置 (※詳細別途)	1台
表示灯電源	一式
補助継電器 (ブライズイン、動作表示付)	一式
避雷器、ヒューズ、スペースヒータ	一式
換気ファン、端子台、その他必要なもの	一式
盤取付金具 (SUS 製)	一式
ランプ (LED)	各種 1個
ヒューズ	各種実装数の 100%
継電器、グロウ類	実装数の 10%

(6) その他

盤内設置機器の動作補償温度を確認し、対策をすること。

3 非常用通報装置

(1) 仕様

形式	盤内組込型 (個別局)
電源	AC200V

通報点数	デジタル12点、アナログ4点以上 (16点毎に32点まで拡張可能)	
通報先	通報16宛先以上	
停電動作環境	待機1時間以上で3回の通報動作が行なえること 温度：-10℃～60℃ 湿度：20%～80%	
(2) その他機能	履歴蓄積、日・月報告、アナログデータ保存できること クラウド監視に対応すること 運転記録 (ポンプ別運転開始・停止時分) 運転記録 (ポンプ別累積運転時間・運転回数) 故障履歴 (故障内容・発生時分) 日毎ポンプ運転記録及び月集計 モジュール内蔵ルータ 専用ケーブル SDカード (2G) その他必要なもの	一式 一式 一式 一式 一式
(3) 付属品		
(4) その他	水中ポンプ制御盤内に取付けるものとする。	

4 水位計

(1) 仕様	投込式水位計 (圧力式)	
形式	1組	
数量		
電源	AC200V	
出力信号	DC1～5V 又は DC4～20mA	
精度	±2.0%以下 FS (変換器との組合せ精度)	
測定範囲	0～5m	
材質	センサ検出部 SUS316・セラミック センサ受圧部 SUS304・SUS316	
出力	通報装置への水位データ (0.01m単位) 運転制御用接点 4点 (LWL、LLWL、HWL、HHWL) 以上	
表示	LWL：ポンプ停止水位 (-1.334m) HWL：ポンプ運転水位 (-0.584m) HHWL：異常高水位 (-0.384m) デジタル (最小表示0.01m、制御盤内に表示)	
設置場所	センサ：ポンプ槽内 コントローラ：制御盤内	
(2) 構成	検出器 (センサ) 変換器・設定器 (コントローラ) 信号アレスタ 専用ケーブル	1台 1組 一式 一式

- その他必要なもの
- (3) 付属品 ステンレスチェーン
- (4) その他

一式

運転制御に支障のない位置に設置し、設置高さは承諾図等により決定すること。

5 フロートスイッチ

(1) 仕様

形式	浮子転倒式レベルスイッチ
電源	AC・DC 24V
接点構造	リードスイッチまたはマイクロスイッチ
接点	A接点 (上向 ON、下向 OFF)
材質	発信器 SUS304 又はアルミニウム合金 フロート 硬質塩ビ
	ワイヤー SUS304 (PFA、FEP 又は PTFE/FRP 等のコーティング)
数量	1組
(2) 付属品	専用ケーブル
	ステンレスチェーン
	その他必要なもの
	一式
	一式
	一式

第3節 据付工事

1 機械設備

- (1) 機器の据え付けにあたっては、十分な経験と技術を持った専門技術者の指導のもとで行い、その機器の性能や機能を損なうことのないように十分注意して据え付けなければならない。
- (2) 機器および付属部品の取り付けには、修理や点検が容易に行えるような位置や向きに配慮すると共に、取り外しが容易にできるようにフランジまたは伸縮管を前後等に設けて取り付けなければならない。
- (3) 機器の据え付け工事にあたって、他工事との出会い現場となる場合は、機器の破損や汚れを受けないように本工事の受注者によって保護に努めなければならない。
- (4) 配管工事は水平、垂直を確認し美観を損なわないようにして行うものとする。
- (5) ポンプ廻りの配管材料はステンレス鋼鋼管のフランジ加工品を使用し、ボルト・ナット・パッキンで接合するものとする。
- (6) フランジ継手に用いるボルトおよびナットはステンレス製とし、ボルトの締め付けは片締めにならないように対角交互に締め付け、最後に増し締め確認を行うものとする。

2 電気設備

- (1) 本設備は、マンホールポンプ場に電力会社等より下記に記載した内容を引込み、各機器への配線接続を行なうとともに、ポンプ盤等機器の製作、据付、試運転調整までを行なうものである。尚、通信会社等へ支払う工事費及び工事の申請等の一切の経費は本工事を含むものとする。

三相三線式 AC200V 60Hz
単相二線式 AC100V 60Hz

(2) 電線及びケーブル

配線工事に使用する電線及びケーブルは、各回路の電流及び機械的強度を考慮し、発注者との協議によりサイズを決定すること。

電力回路 EM-CE600V EM-EEF600V

制御回路 EM-CEE

接地線 EM-IE (撚線、緑色)

(3) 電線管

ア 電線管の地中埋設部は、難燃性波付硬質ポリエチレン管を使用し、露出部は耐衝撃性硬質塩化ビニル電線管を使用する。

イ 地中埋設部の波付硬質ポリエチレン管への接続は異種管継手を使用するものとする。

ウ 接地線用の電線保護管は、耐衝撃性硬質ビニル電線管を使用するものとする。

エ ポンプ槽から制御盤への電気配管は、施工時において、湿気、臭気等の混入を防ぐため、プルボックス (ステンレス製) 等を設けて電線管路の縁を切り、通気孔を設けること。

(4) 接地

ア 標準施工は一括共用接地で施工するものとし、その際の接地抵抗値は 100Ω以下を目標とする。

イ D種接地工事 (ED) の極は、直径 14mm 以上で長さ 1,500mm 以上の 2 連結式の接地棒を使用し、1 箇所につき 3 本の接地棒を施工すること。また接地抵抗値が規定値にならない場合は適宜、補助棒を追加すること。

ウ 地中に埋設する部分において接続する場合、その接続部にはエポキシ塗料による防食処理を施すこと。

エ 接地標示は全ての接地工事の施工内容を記入するものとする。

3 塗装工事

(1) 機器の塗装は特に指定のないものはメーカーの標準色とするが、据付後損傷箇所がある場合はその補修塗装を行なうものとする。

(2) メーカーで仕上げ塗装がなされていない機器、材料については特に指定してあるもの以外は、機械類は錆止め塗装と下塗り上塗りをそれぞれ各 1 回塗装を原則とする。また、仕上げ塗装の色彩については監督員の指定を受けるものとする。

4 試運転調整

(1) 各機器の現場据付後、発注者の定める期間内に受注者は各機器について専門の熟練した技術者を派遣し、機器の調整試運転を行い成績書を提出すること。

(2) 試運転終了後、監督員の指示に従い各機器の機能および取扱操作方法等の説明をすること。

5 その他

施工中にあつては、交通誘導員を必要に応じ配備し、歩行者・車両等の通行の妨げにならないよう交通整理を行うこと。また、作業車両の駐車場所は、受注者で確保し、他の通行の妨げにならないよう対応するものとする。

7 運転方案

(1) 水位による自動運転

マンホール内の水位が運転開始水位 (HWL) になると、ポンプ1台が自動始動し送水する。その後、水位が停止水位 (LWL) まで低下すると (タイマー設定運転後) 自動停止する。

(2) ポンプの運転方法

運転方法は単独交互運転とする。

ポンプ2台の内1台が運転し、残り1台は待機する。運転中のポンプが停止水位に到達後、自動停止し、再び水位上昇により運転開始水位 (HWL) に達すると待機していたポンプが運転し、停止したポンプは待機状態に入る。以後もこれを繰返し交互運転する。

(3) 自動飛越運転回路

運転中にポンプが故障した場合は、待機中のポンプが運転を開始し、故障ポンプが復旧するまで1台のポンプで運転を継続する。

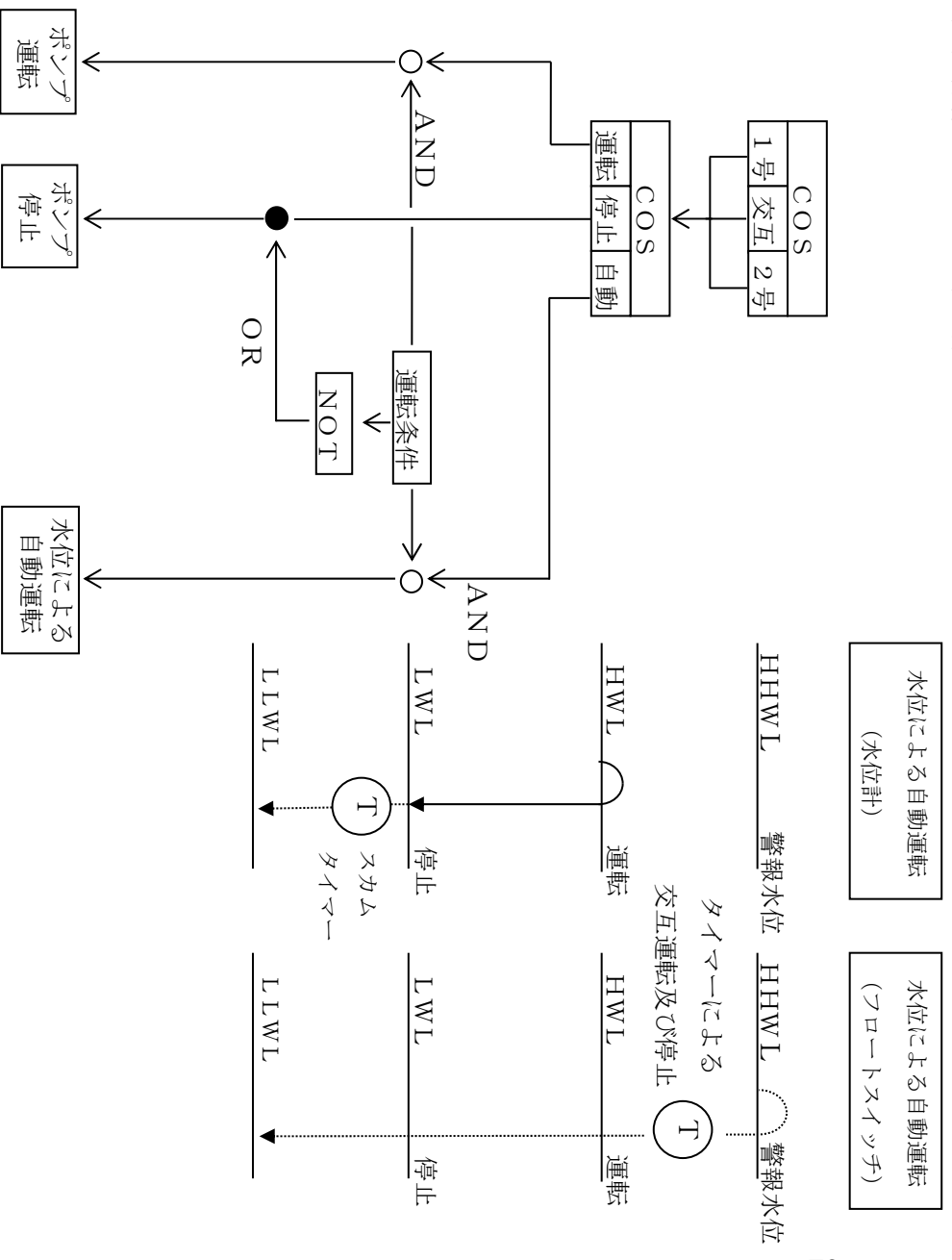
(4) 異常警報

異常発生時に非常通報装置にて通報する。

警報項目 (例) : 1号ポンプ故障、2号ポンプ故障

異常高水位 (水位計、フロートスイッチ)、停電

(5) 操作ブロック図 (参考)



明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
仕 様 関 係	<input checked="" type="checkbox"/> 共通の仕様	<input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）は、三重県公共工事共通仕様書に優先する。 <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月版）を適用（部分改定を行った内容も含む（最新改定：令和5年7月1日）） <input checked="" type="checkbox"/> 本市が制定する要綱及び規則等に準拠するとともに監督員の指示により執行すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストを活用し、津市工事請負契約約款、設計図書及び三重県公共工事共通仕様書等に基づき、施工・手続き等が適切に実施されていることを常に監督員と共有し、確認すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン（平成31年3月）（一部改正：令和2年4月）を参考とする。 <input type="checkbox"/> 「土木構造物設計マニュアル（案）編」を適用
	<input type="checkbox"/> 公園工事の仕様	<input type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事共通仕様書（令和5年5月）に準ずること。 <input type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事施工管理基準（令和3年7月）に準ずること。
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
工 程 関 係	<input type="checkbox"/> 別途工事との工程調整が必要あり （別途工事名： ）	<input type="checkbox"/> 調整項目（ <input type="checkbox"/> 資材等の流用 <input type="checkbox"/> 仮設及び工事用道路等の調整 <input type="checkbox"/> 建設機械等の調整 <input type="checkbox"/> 施工順序の調整 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議
	<input checked="" type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> 制限する工種名（ 河川区域内の全工種 ） 施工時期及び施工時間（ 令和6年4月30日までに施工を完了させること。 ） 施工方法（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 工種（ A1・A2橋台に係る工種以外 ）について、施工日の即日開放を原則とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工種（ 区画線工 ）について、事前に（ 津警察署 ）と立会を行い、確認後、施工すること。
	<input type="checkbox"/> 工期	<input type="checkbox"/> 工期は、繰越手続きが完了後、（ 年 日 ） までに変更します。
	<input type="checkbox"/> 他機関との協議が未完了	<input type="checkbox"/> 協議が必要な機関名（ ） 協議完了見込み時期（ ）
	<input type="checkbox"/> 占用物件との工程調整の必要あり	<input type="checkbox"/> 占用物件名（ <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他（ ） ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 支障物件の移設	<input checked="" type="checkbox"/> 施工に支障となり、ゴミ置場等の移設が必要な場合は、施工前に関係機関、所有者、関係自治会等と調整を図ること。また、移設場所及び移設時期を所有者、関係自治会等へ事前に回覧等を配布するなど周知の徹底を図ること。なお、調整結果を監督員に報告すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物等の損害	<input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等上空施設の調査結果を監督員に報告すること。また、地下埋設物件等に損害を与えた場合は、直ちに関係機関に通報及び監督員に連絡し、応急措置を取り補修するとともに、周辺住民に対して適切な処置を講ずること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 官公庁への手続き等	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の使用許可申請及び消防長への道路工事の届出等を行うこと。また、諸手続きにおいて、許可、承諾を得たときは、その書面の写しを監督員に提出すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 通学路確認	<input checked="" type="checkbox"/> 工事箇所を通学区域とする学校に確認し、通学路であった場合は、対象の学校と協議し、工程の調整を図り、通学者の安全を確保すること。また、学校との協議結果を監督員に報告すること。
	<input type="checkbox"/> 部分使用	<input type="checkbox"/> 部分使用箇所（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用時期（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用目的（ ）
	<input type="checkbox"/> 部分引渡し	<input type="checkbox"/> 部分引渡し指定部分（ ） <input type="checkbox"/> 部分引渡し時期（ ）
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
用 地 関 係	<input type="checkbox"/> 用地補償物件の未処理箇所あり	<input type="checkbox"/> 未処理箇所（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> No. ～No. <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 完了見込み時期（ <input type="checkbox"/> 令和 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 別途協議 ）
	<input type="checkbox"/> 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> 仮設ヤード（ <input type="checkbox"/> 官有地 <input type="checkbox"/> 民有地 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 仮設ヤード使用期間（ ） <input type="checkbox"/> 仮設ヤードからの運搬距離（L＝ km） <input type="checkbox"/> 使用条件・復旧方法（ ）
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
公 害 対 策 関 係	<input checked="" type="checkbox"/> 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> 制限項目（ <input type="checkbox"/> 騒音 <input type="checkbox"/> 振動 <input type="checkbox"/> 水質 <input type="checkbox"/> 粉じん <input checked="" type="checkbox"/> 排出ガス <input type="checkbox"/> その他（ ） ） <input checked="" type="checkbox"/> 施工方法等（ <input type="checkbox"/> 指定工法名（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 施工時期（ ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業損失防止に関する調査あり	<input checked="" type="checkbox"/> 調査項目（ <input type="checkbox"/> 騒音測定 <input type="checkbox"/> 振動測定 <input type="checkbox"/> 水質調査 <input type="checkbox"/> 近接家屋の事前調査 <input type="checkbox"/> 近接家屋の事後調査 <input type="checkbox"/> 地盤沈下測定 <input type="checkbox"/> 地下水位等の測定 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 試掘調査 ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input checked="" type="checkbox"/> 調査方法（ <input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 家屋調査は、主任技術者（監理技術者）の管理のもと、三重県業務委託共通仕様書に基づき調査を実施すること。また、調査に従事する者（補助者を除く）は、調査対象物件に応じた建築士法第2条に規定する建築士の資格を有する者を充てること。なお、身分証明書交付願を速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後に家屋調査を実施すること。
	<input type="checkbox"/> 地下水位低下工	<input type="checkbox"/> ウェルポイントは、近隣家屋の事前調査完了後に着手すること。また、工事現場周辺の井戸調査を行い、井戸が残存する場合は、井戸の水位の変化に細心の注意を払うこと。なお、近隣家屋の事前箇所及び井戸調査範囲は、監督員と協議すること。
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
安 全 対 策 関 係	<input checked="" type="checkbox"/> 近接施設等に対する制限	<input checked="" type="checkbox"/> 既存施設あり ・近接公共施設（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他（ ） ） ・近接施設（ <input type="checkbox"/> 擁壁（ ） <input type="checkbox"/> ブロック塀 <input type="checkbox"/> 家屋 <input type="checkbox"/> その他（ ） ） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 <input type="checkbox"/> 工法制限あり ・制限を受ける工種（ ） ・制限内容（ ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 現場での安全確保（自主施工の原則）	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事故速報の提出	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 掘削（床掘り）	<input checked="" type="checkbox"/> 図面に表記した掘削及び床掘りラインは、数量算出に用いたものであり、掘削の深さ、掘削を行っている期間、土質条件、地下水の状況及び周辺地域の環境条件等を総合的に勘案し、安全かつ確実に施工すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 作業後の現場確認	<input checked="" type="checkbox"/> 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所は即日補修を行うものとする。
	<input type="checkbox"/> 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	<input type="checkbox"/> 安全防護施設等の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 保安要員の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
<p>安全対策関係</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定あり</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の配置（<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置（<input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議）</p> <p style="padding-left: 20px;"><input type="checkbox"/> 指定路線 <input checked="" type="checkbox"/> 指定路線以外</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置人員数</p> <p style="padding-left: 20px;"><input checked="" type="checkbox"/> 概算人数による算出</p> <p style="padding-left: 40px;">① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。</p> <p style="padding-left: 60px;">概算延べ人数：交通誘導警備員 A： 人 B： 114人</p> <p style="padding-left: 60px;">（注：交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。）</p> <p style="padding-left: 40px;">② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。</p> <p style="padding-left: 40px;">③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 積上げによる算出</p> <p style="padding-left: 40px;">配置人員数（人）（うち交通誘導警備員A（人））</p> <p style="padding-left: 60px;">（注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置時間（別途協議）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置期間（別途協議）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員配置の対象工種（別途協議）</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 定期安全研修・訓練等</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等は、工事着手後、作業員全員（交通誘導警備員含む）の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、以下の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施すること。また、作業員全員の参加が困難な場合は、分割して実施する事も出来る。なお、安全教育及び安全訓練等の実施状況を記録した資料及び写真を整備及び保管し、監督員及び検査員に提示すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 当該工事内容等の周知徹底</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底</p> <p style="padding-left: 20px;">(4) 当該工事における災害対策訓練</p> <p style="padding-left: 20px;">(5) 当該工事現場で予想される事故対策</p> <p style="padding-left: 20px;">(6) その他、安全・訓練等として必要な事項</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等は、以下に示す項目の具体的な計画を作成し施工計画書へ記載すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 工事期間中の月別安全研修・訓練等実施全体計画</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 全体計画には、下記項目の活動内容について具体的に記述する。</p> <p style="padding-left: 40px;">1) 月当たり半日以上時間を割り当てた安全研修・訓練等の実施内容・工程に合わせた適時の安全項目</p> <p style="padding-left: 40px;">2) 資機材搬入者等一時入場者への工事現場内誘導方法</p> <p style="padding-left: 40px;">3) 現場内の業務内容及び工程の作業員等への周知方法</p> <p style="padding-left: 40px;">4) KY及び新規入場者教育の方法</p> <p style="padding-left: 40px;">5) 場内整理整頓の実施</p> <p style="padding-left: 40px;">6) その他安全に関する取組み</p>
<p><input checked="" type="checkbox"/> 安全巡視等</p>		<p><input checked="" type="checkbox"/> 安全巡視者を定め、安全巡視者はその所在を明らかにするとともに、施工計画書の内容、工事現場の状況、施工条件及び作業内容を熟知し、適時、作業員等の指導及び安全施設や仮設備の点検を行い、工事現場及びその周辺の安全確保に努めること。また、安全巡視、KY活動、TBM等の実施状況を記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 災害防止協議会（安全衛生協議会）の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 下請け契約を締結する場合には、下請負人の工事施工・安全管理の責任者等を含め、災害防止協議会を設置し、作業間の連絡調整を図り、災害防止に努めること。また、協議会の開催は毎月1回以上とする。なお、実施状況を記録した資料（実施状況写真があることが望ましい）を保管し、監督員及び検査員に提示すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 新規入場者教育	<input checked="" type="checkbox"/> 新規入場者教育等（交通誘導警備員を含む）は、本工事の現場特性を反映した内容で実施すること。また、実施状況がわかる記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。
建設発生土・産業廃棄物関係	<input type="checkbox"/> 建設発生土受入地の指定あり	<input type="checkbox"/> 受入地の条件（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> 運搬距離（L＝ km） <input type="checkbox"/> 受入料金あり <input type="checkbox"/> 受入料金なし <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ））
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土受入地未定	<input checked="" type="checkbox"/> 受入地未定につき別途協議する。（ <input checked="" type="checkbox"/> 暫定運搬距離L＝ 4 km、 <input type="checkbox"/> その他（ ））
	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理条件あり	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の種類（ <input checked="" type="checkbox"/> コン塊 <input checked="" type="checkbox"/> アス塊 <input type="checkbox"/> 木材 <input type="checkbox"/> 汚泥 <input checked="" type="checkbox"/> その他（廃プラ）） <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処分地（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生処分場（ ） <input type="checkbox"/> 最終処分場（ ） <input type="checkbox"/> 別添図書 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】 <input type="checkbox"/> 処分場の受入条件（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 再生資源利用計画	<input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。 また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 再生資源利用促進計画	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物税	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物処理	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理を委託する場合には、廃棄物処理法に規定する委託基準を遵守し、産業廃棄物収集運搬業者等、産業廃棄物処分業者等との契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提出すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより、適正に処理されたことを確かめるとともに監督員に提示すること。また、完成検査時に検査員に提示すること。
<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
工事用道路関係	<input type="checkbox"/> 一般道路（搬入路）の使用制限あり	<input type="checkbox"/> 経路及び使用期間の制限内容（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ））
	<input type="checkbox"/> 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） <input type="checkbox"/> 用地及び構造（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） <input type="checkbox"/> 安全施設（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ））
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明示項目	明示事項	条件及び内容
<p>施工条件</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 施工</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担において処理すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事期間中（養生期間中を含む）の工事箇所隣接する乗入れについて、所有者（使用者）と施工前に協議し、施工時間の調整を行い、必要に応じ鉄板等を用いるなど乗入れを確保すること。また、受注者は、完成後の乗入れの形態を所有者に事前に説明し、了承を得ること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 排水構造物の施工中は、常に通水可能な状態を確保すること。また、降雨時等は状況把握に努め、必要に応じて臨機の措置を講じること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受注者は工事箇所に官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、鋸、プレート等）が発見された場合は、オフセット等境界を示すものの位置が明確となる資料及び状況写真を添付し、施工前に監督員に報告すること。また、用地付近又は官民境界付近に接して工事を行う場合には、地権者の了承を得て着手すること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 環境対策</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 既存排水施設等に影響を及ぼす恐れのある濁水（土粒子を多量に含むもの）は、沈砂または濾過施設を通すなど濁りの除去等の行った後、放流すること。また、万が一環境に影響を及ぼす事態が発生した場合は、受注者の責において解決に当たること。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 支援技術者</p>	<p><input type="checkbox"/> (1) 本工事の現場における現場技術業務を（公財）三重県建設技術センターに委託するため、支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場立会、観察又は検測を行う場合は、業務に協力すること。また、書類（施工体制台帳、施工計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じること。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しない。</p> <p>(2) 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合は、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。</p> <p>(3) 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。</p> <p>(4) 本工事を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。 支援技術者：</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については、津市建設工事電子メールを活用した情報共有に関する実施要領に基づき、監督員の指示によるものとする。</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> デジタル工事写真の電子小黒板の使用</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> デジタル工事写真の電子小黒板を使用する場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 熱中症対策</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 「熱中症対策に資する現場管理費の補正に関する特記仕様書（三重県）に準拠すること。また、「気温の計測方法」「計測結果の報告方法」「具体的な熱中症対策の方法」について施工計画書に記載するとともに、熱中症対策実施後においては、実施状況について写真を添付して報告すること。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 公園内工事</p>	<p><input type="checkbox"/> 公園利用者の安全確保につとめ、工事箇所に工事関係者以外が立ち入ることのないよう、注意して施工するものとする。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 災害復旧</p>	<p><input type="checkbox"/> 工事用道路として使用する敷地は、施工期間中及び施工終了時に原形に復旧すること。また、地権者より制約条件、時間的制約等、要望された場合は、速やかに監督員に報告すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 本工事は、建設工事請負契約書の条項第29条第4項の「特記仕様書で定める災害応急対策又は災害復旧に関する工事」の対象工事である。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり</p>	<p><input type="checkbox"/> 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ）</p>
	<p><input type="checkbox"/> 現場発生品あり</p>	<p><input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ）</p>
<p><input type="checkbox"/> 支給品あり</p>	<p><input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ）</p> <p>時期（令和 年 月 日） その他（ ）</p>	
<p><input checked="" type="checkbox"/> 現場密度の測定の指定あり</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開削埋戻しの品質管理として、現場密度の測定（三重県公共工事共通仕様書 建設工事施工管理基準（案）品質管理 道路土工に準拠する）を行うこと。また、測定は、延長100m毎に測定することとし、測定位置は、埋戻し深さの1/2程度とする。また、測定頻度は1回（3試料）以上とし、縦断方向に3試料を測定すること。なお、測定費用は受注者の負担とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 立坑埋戻しの現場の品質管理として、現場密度の測定（三重県公共工事共通仕様書 建設工事施工管理基準（案）品質管理 道路土工に準拠する）を行うこと。また、埋戻し深さが5m未満の立坑の試験位置は、埋戻し深さの1/2程度の位置及び埋戻し天端の2箇所とし、試験頻度は1回（3試料）以上とする。埋戻し深が5m以上の立坑の試験位置は、概ね均等な間隔となるよう設定する。試験頻度は3mにつき1回（3試料）以上とする。なお、費用は受注者の負担とする。</p>	

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明示項目	明示事項	条件及び内容
<p>施工条件</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 砂基礎材料 <input checked="" type="checkbox"/> 埋戻し材料</p> <p><input type="checkbox"/> 公共ます</p> <p><input type="checkbox"/> 盛土材等工事間流用あり</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現場パトロール</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 砂基礎材の規格については、最大粒径20mm以下、且つ0.075mmふるい通過質量百分率0～20%以下とする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 【購入土】掘削土（現場発生土）は、設計図書で明示する試験を実施し試験結果を監督員に報告すること。なお、試験結果により掘削土（現場発生土）が埋戻し材料に適している場合は、監督員と協議し、流用土に変更する。</p> <p><input type="checkbox"/> 【流用土】掘削土（現場発生土）は、設計図書で明示する試験を実施し試験結果を監督員に報告すること。なお、試験結果により掘削土（現場発生土）が流用土に適していない場合は、監督員と協議し、適した材料に変更する。</p> <p><input type="checkbox"/> 公共ます設置位置申請書等に基づき設置すること。また、施工前に必ず申請者及び使用者に設置位置等を再度確認し、承諾後に施工すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 申請者及び使用者より設置位置等の変更の申し出があった場合は、監督員に報告し、処理対応方法について、監督員の指示を受けること。</p> <p><input type="checkbox"/> やむを得ず管止めとなる場合は、その理由を明確にし、申請者に説明するとともに監督員の承諾を得た後に管止めとする。また、管止めの位置がわかるようにピン等で表示するとともに本市指定の管止め調査に状況がわかる写真を添付し、監督員に提出すること。</p> <p><input type="checkbox"/> 運搬方法（ <input type="checkbox"/> 受注者で運搬 <input type="checkbox"/> 受注者以外で運搬 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ））</p> <p><input type="checkbox"/> 引渡場所（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ））</p> <p>数量（ ） 運搬距離（L＝ km）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 公共工事の品質確保の促進を図る目的として、津市政策財務部検査課において、施工状況の確認等現場パトロールを実施することがある。</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>
<p>工事支障物件関係</p>	<p><input type="checkbox"/> 工事支障物件あり</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>	<p><input type="checkbox"/> 支障物件名（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> その他（ ））</p> <p><input type="checkbox"/> 移設時期（ <input type="checkbox"/> 令和 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 別途協議）</p> <p><input type="checkbox"/> 防護（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>
<p>監督の区分</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 一般監督 （ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となった場合は、全ての工種を重点監督とする。）</p> <p><input type="checkbox"/> 重点監督</p>	<p>重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】</p> <p><input type="checkbox"/> 全ての工種に適用する。</p> <p><input type="checkbox"/> 対象工種（ ）</p> <p>※これ以外は、一般監督とする。</p>
<p>仮設備関係</p>	<p><input type="checkbox"/> 仮設備の設置条件あり</p> <p><input type="checkbox"/> 水替工（縮切排水工）</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設物の構造及び施工方法の指定</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>	<p><input type="checkbox"/> 使用期間及び借地条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ）</p> <p><input type="checkbox"/> 転用あり（ 回）</p> <p><input type="checkbox"/> 兼用あり（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件の指定なし</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件の指定あり</p> <p>① 水替工（縮切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。</p> <p>概算延べ水替日数： 日</p> <p>② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。</p> <p>③ 水替工（縮切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 構造及び設計条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ）</p> <p><input type="checkbox"/> 施工方法（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
再生材使用関係	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材使用の指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材の種類（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生Asコン <input type="checkbox"/> 再生路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> 再生クラッシャーラン <input type="checkbox"/> 道路用盛土材 <input type="checkbox"/> 再生コン砂 ） <input checked="" type="checkbox"/> 再生材が使用出来ない場合の措置（ <input type="checkbox"/> 新材に変更 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議 ）
	<input type="checkbox"/> 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	<input type="checkbox"/> 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すること。 （認定製品の品名： <input type="checkbox"/> 盛土材 <input type="checkbox"/> 埋戻し材 <input type="checkbox"/> サンドクッション材 <input checked="" type="checkbox"/> 上層路盤材 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品 <input type="checkbox"/> グレーチング <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板 ）
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
コリンズ作成・登録	<input checked="" type="checkbox"/> コリンズ（CORINS）の作成・登録	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設発生土情報交換システム	<input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物情報交換システム	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土情報交換システム	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
提出書類	<input checked="" type="checkbox"/> 工事完成報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 工事完成報告書の提出部数は2部とする。また、様式については、津市ホームページ（入札等に関する各種様式（工事・コンサル）に定められたものとする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 完成写真	<input checked="" type="checkbox"/> 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4）
	<input checked="" type="checkbox"/> 施工計画書（作業主任者）	<input checked="" type="checkbox"/> 作業主任者を選任すべき作業については、作業名及び作業主任者の氏名等を施工計画書へ記述するとともに資格者証の写しを施工計画書へ添付して提出すること。また、就業制限の対象業務及び特別教育の必要な対象業務も同様とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 施工体制台帳	<input checked="" type="checkbox"/> 工事を施工するために下請契約（一次下請負人となる警備業者との契約含む）を締結した場合、工事着手までに、原則として電子データで施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、添付書類も含めその写しを監督員に提出すること。また、施工体制に変更が生じた場合も同様とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 部分下請通知書	<input checked="" type="checkbox"/> 工事の一部分において、下請負に付する場合には、部分下請通知書を当該下請負業者の施工開始日までに提出すること。部分下請通知書には、下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、主任技術者等の資格者証の写し及び主任技術者等の雇用関係書類を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請負業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。また、添付書類については、施工体制台帳と兼ねることができる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 工事使用材料	<input checked="" type="checkbox"/> 工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を特に明示した場合を除き、三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月）に示す規格に適合したものとする。また、使用する材料の品質証明の資料確認（提示及び提出）は、施工計画書作成時に監督員と協議すること。
	<input type="checkbox"/> 本管TV調査結果	<input type="checkbox"/> 管渠敷設後は、テレビカメラにて管内を確認し成果物をDVD-Rにて提出すること。なお、漏水等を発見した場合は、速やかに監督員に報告し、適切に処置すること。
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
電子納品	<input type="checkbox"/> 工事完成図書（工事写真含む）	<input type="checkbox"/> 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 電子納品対象外	電子媒体の提出部数は、（ <input type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> （ ）部 ）とする。 <input type="checkbox"/> 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和5年7月改訂）を適用
薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法等の指定あり	<input type="checkbox"/> 設計条件（ ） 工法区分（ ） 材料種類（ ） 施工範囲（ ） <input type="checkbox"/> 削孔数量（ ） 注入量（ ） その他（ ）
	<input type="checkbox"/> 提出書類あり	<input type="checkbox"/> 工法関係（ ） 材料関係（ ）
	<input type="checkbox"/> 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
社会保険等未加入対策	<input checked="" type="checkbox"/> 社会保険等未加入対策 (健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)	<input checked="" type="checkbox"/> 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。
法定福利費の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費を明記した標準見積書の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用に努めること。 (津市HP「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ(工事・コンサル)」を参照)
配慮依頼事項	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者含む。）が認められた契約にあつては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製品の使用	<input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することに配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れ	<input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 使用人等において市民の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用するよう配慮すること。
特例監理技術者の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 特例監理技術者の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定（監理技術者（特例監理技術者）の配置）を適用する。なお、配置を行う場合は、追加特記仕様書〔特定管理技術者等の配置〕に示す要件を全て満たさなければならない。（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）
津市公契約条例	<input checked="" type="checkbox"/> 津市公契約条例に関する特記	<input checked="" type="checkbox"/> 締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。 1 受注者の責務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。 (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。 (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 (5) 特定公契約にあつては、別紙誓約事項に違反したとき。
	<input checked="" type="checkbox"/> 労働環境の確保に係る誓約事項	<input checked="" type="checkbox"/> 津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。 2 関係法令に違反し関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明示項目	明示事項	条件及び内容
<p>暴力団等の不当介入の排除等</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 暴力団等の不当介入の排除等に関する特記</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等(以下「暴力団等」という。)の不当加入を排除し、契約等の適正な履行を確保するため必要な事項を定める。</p> <p>1 受注者の義務</p> <p>(1) 契約の相手方及び下請負人等(以下「受注者等」という。)は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。</p> <p>(2) 暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。</p> <p>(3) 暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。</p> <p>(4) 本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。</p> <p>(5) 捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。</p> <p>(6) 受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。</p> <p>2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置</p> <p>(1) 入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づく指名停止措置を講ずるものとする。</p> <p>(2) 上記1受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。</p> <p>3 契約等の解除</p> <p>(1) 暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。</p>
<p>建設業退職金共済制度に係る事務手続き</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについて</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについては下記のとおりとする。</p> <p>1 建設業退職金共済制度への加入</p> <p>受注者は、三重県公共工事共通仕様書に定めるところにより、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入すること。</p> <p>2 契約締結時の提出書類</p> <p>工事の受注者は、必要な枚数の共済証紙を購入し、原則として契約締結後1ヶ月以内に、取扱機関から交付される掛金収納書を「掛金収納書提出用台紙」に添付して、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。ただし、電子申請方式により退職金ポイントを購入する場合は、契約締結後原則として40日以内に、電子申請専用サイトで発行される掛金収納書（電子申請方式）について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。自社で退職金制度がある等の理由により、証紙を購入しない場合は「建設業退職金共済証紙購入適用除外届」について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。</p> <p>3 共済証紙購入額</p> <p>掛金収納書提出用台紙の「当該工事における共済証紙購入の考え方」1～4によるものとし、当該労働者の就労予定延べ人数や、当該工事における労働者の制度加入率の把握に努め、「考え方」2又は3によることが望ましいが、これにより難しい場合は「考え方」1とし、契約金額（税込）の1000分の1.7以上を目途とすること。</p> <p>4 共済証紙等の管理</p> <p>購入した共済証紙については、「工事別共済証紙受払簿」を作成し購入枚数や交付枚数の管理に努めること。また、適切に対象労働者の就労状況等を把握し、共済証紙の交付等を行うこと。</p> <p>5 工事完成後の提示書類</p> <p>工事完成後、速やかに掛金充当日数と証紙購入日数に概ね齟齬がないことを確認し、「掛金充当実績総括表」を作成し、監督員に提示すること。また、事務手続きの履行状況を確認するため、必要に応じて「工事別共済証紙受払簿」又はその他関連書類の提示を求める場合がある。</p> <p>6 建設キャリアアップシステムの活用</p> <p>建設キャリアアップシステム（以下 CCUS という。）に事業者登録を行っている受注者は、カードリーダーの設置等の就業履歴が蓄積可能な環境整備に努めること。また、CCUS の活用により対象労働者の就労状況等を適切に把握し、就業履歴数と対象労働者の就労状況報告との間で齟齬が生じないように留意すること。</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
津市工事請負の 地元調整	<input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事の地元調整については下記のとおり行うものとする。 1 趣旨 津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生した。このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。 2 発注者及び受注者の責務 (1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。 (2) 上記(1)以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。 3 定義 (1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合など利害関係者の代表者を含むものとする。 (2) 「不当要求行為等」とは、 ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為 イ 暴力行為、脅迫行為 ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為 エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為 オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為 (3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。 4 工事説明の進め方 (1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。 (2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関する内容を、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関すること以外の工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。 (3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。 (4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。 (5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。 (6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事実施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。 5 不当要求行為等 (1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成18年1月1日規則第6号）第4条第1項第2号に規定する部次長、同条第2号の2項に規定する局次長、同条第2項に規定する所長及び同条第5項第2号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。 (2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。 (3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならない。
その他	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。